

新奈良町にぎわい構想 アクションプランVer.2

令和3年4月1日 Ver.2

奈良市

目次（案）

1. はじめに	・ ・ ・ 2
2. アクションプランの進捗状況	
Ver.1のアクションプラン	・ ・ ・ 5
新奈良町にぎわい構想関連事業	・ ・ ・ 17
3. アクションプラン Ver. 2	
①地域の伝統行事の継承	・ ・ ・ 20
②ならまち・きたまち・京終・高畑エリアが 連携したイベントの実施	・ ・ ・ 21
③民学官連携による学際プロジェクトの実施	・ ・ ・ 22
④町家の利活用の促進	・ ・ ・ 23
⑤良好な町並み景観の保全と伝統的な町家が 残るエリアでの重点的な保全手法の検討	・ ・ ・ 24
4. 資料編	・ ・ ・ 25
1. 地域の伝統行事＆お祭りBOOK「奈良町」Vol.3 自治会アンケート結果	
2. 地域の伝統行事＆お祭りBOOK「奈良町」Vol.3 個人向けアンケート結果	
3. 地域の伝統行事＆お祭りBOOK「奈良町」Vol.3 まちづくり団体向けアンケート結果	

1. はじめに

○意義・目的

本計画は、平成29年2月に策定した「新奈良町にぎわい構想」に基づき、奈良町において「まちづくり活動」を原動力に、「歴史・文化」を基盤とした「暮らし」「生業」「観光」の相互循環を創りだす、歴史都市型のコンパクトシティを目指すためのものです。

そのために地域の実情に応じた具体的な方針や方策を検討し、地域住民、各種団体（まちづくり団体、観光ボランティア団体ほか）、行政が協働し、実施するもので、Ver.2では、関係者間の連携による、新たな取り組みの創出、実現を目指します。

○計画の範囲

本計画の範囲は、新奈良町にぎわい構想の範囲とする。

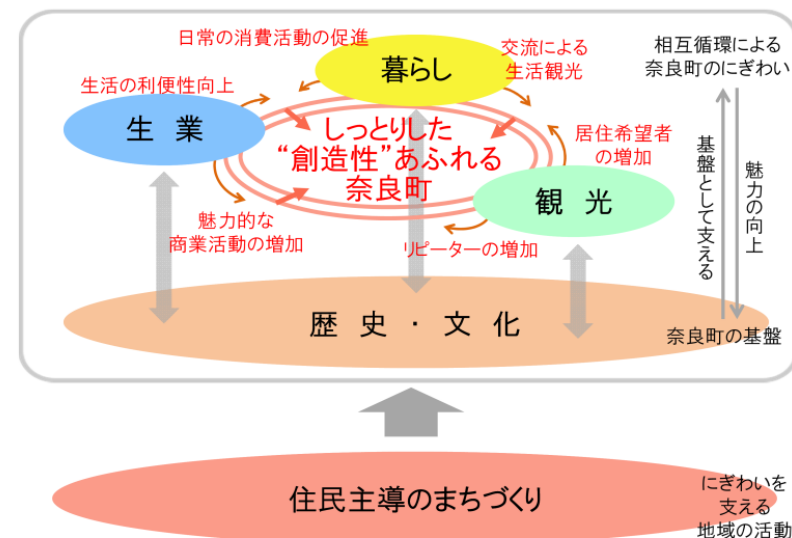
○期間

新奈良町にぎわい構想の実現に向けたアクションプランの実施期間は平成30年度から10年とし、概ね3年毎にアクションプランを見直すこととする。

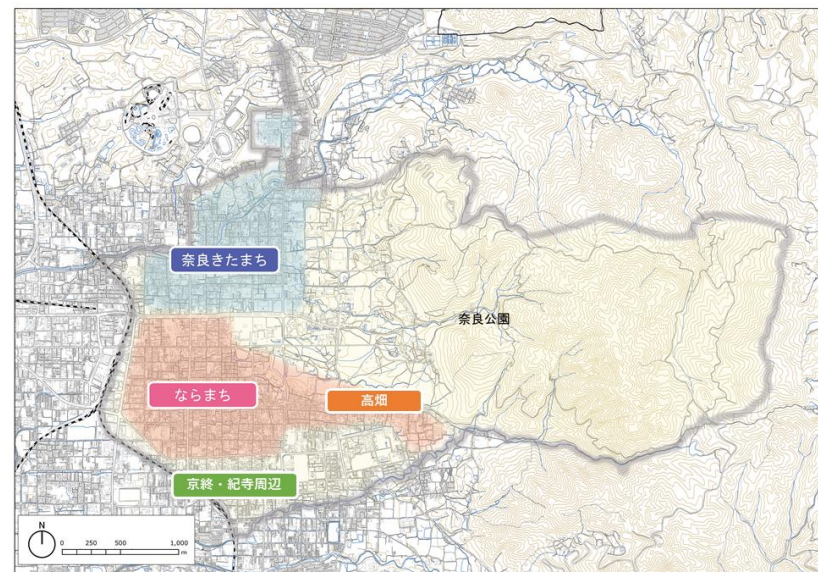
○アクションプランの位置づけ

	Ver.1			Ver.2			Ver.3			
年度	H30	H31 R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
目標	住民周知 ・協力関係づくり 行政組織内の 連携体制の構築			関係者間の連携 による新たな取 組みの創出・実施			長期計画の実現			
計画 期間	短期			中期			長期			

奈良町のにぎわいづくり イメージ



新奈良町にぎわい構想の範囲



1. はじめに

○役割

アクションプランは、新奈良町にぎわい構想の実現に向け、行政主導ではなく、地域住民を中心に関係主体が相互に作用し、連携した計画の実施を目指すものです。

現段階での目指す役割は右のとおりとし、Ver.1に引き続き、行政は、地域住民や各種団体の活動の一助となるよう、実情を把握し、各組織や団体と連携して施策を立案することで、新奈良町にぎわい構想、および、アクションプランへの興味・関心を高めること目標とします。さらに、Ver.2では各組織や団体と行政が連携することで、アクションプランを相乗的に発展させることを目指します。

<想定される関係者>

地域住民・・・奈良町の住民、奈良町で事業を実施する事業者

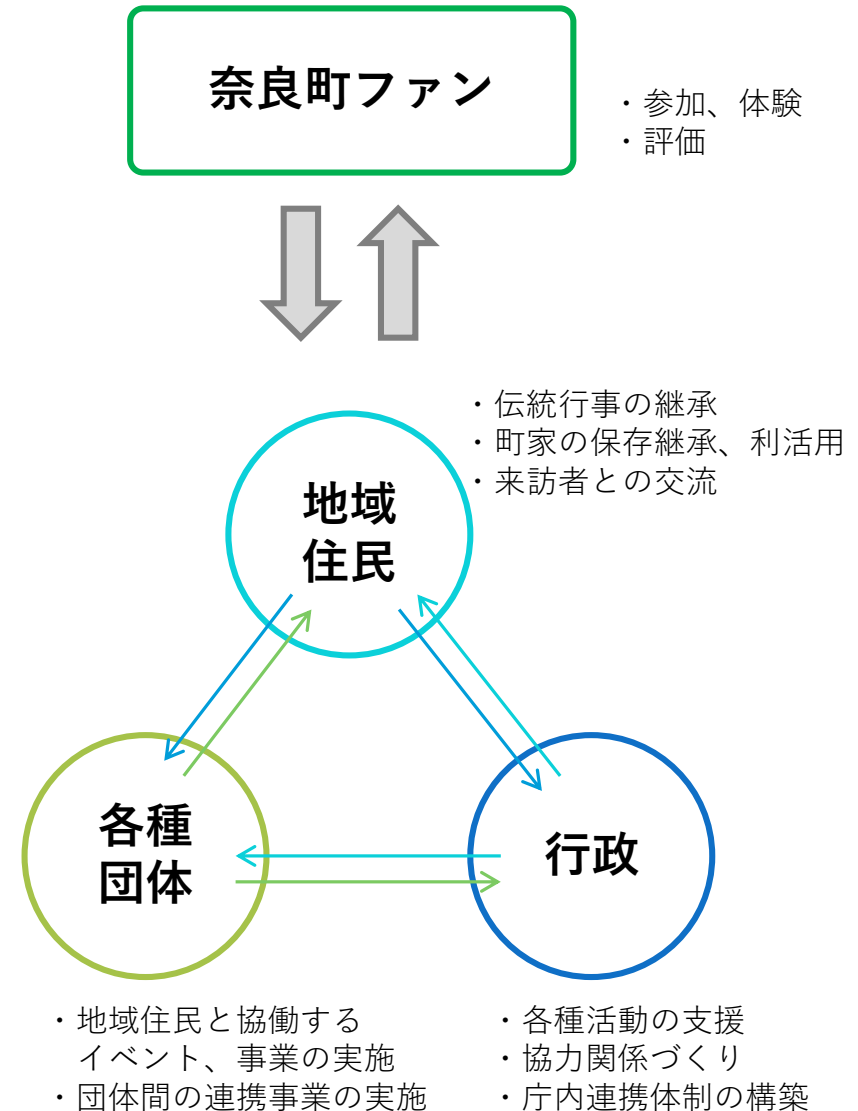
各種団体・・・まちづくり団体、商店街、実行委員会
観光ボランティア団体等

奈良町ファン・・・観光客、来訪者、奈良町が好きな人、転入者

○実施体制

関係各者は、施策毎に関わり方が様々で、かつ、各種団体の組織体制、運営方法などが異なることから、各施策に関係する地域住民や関係団体と行政が個別に調整を行い実施し、今後、各関係組織、団体が緩やかにつながりながら構想を実現することを目指します。

行政は、各施策の進捗状況はインターネットで公開し、施策全体を包括的に確認できる仕組みを整えます。アクションプランVer.2以降の施策検討のため、地域住民、各種団体、行政、及び行政内の連携体制の構築も含め、関係各者が、アクションプランの進捗を確認し、協議する体制を検討します。



1. はじめに

奈良町関係者の現状と緩やかにつながりあう仕組み作りに向けて

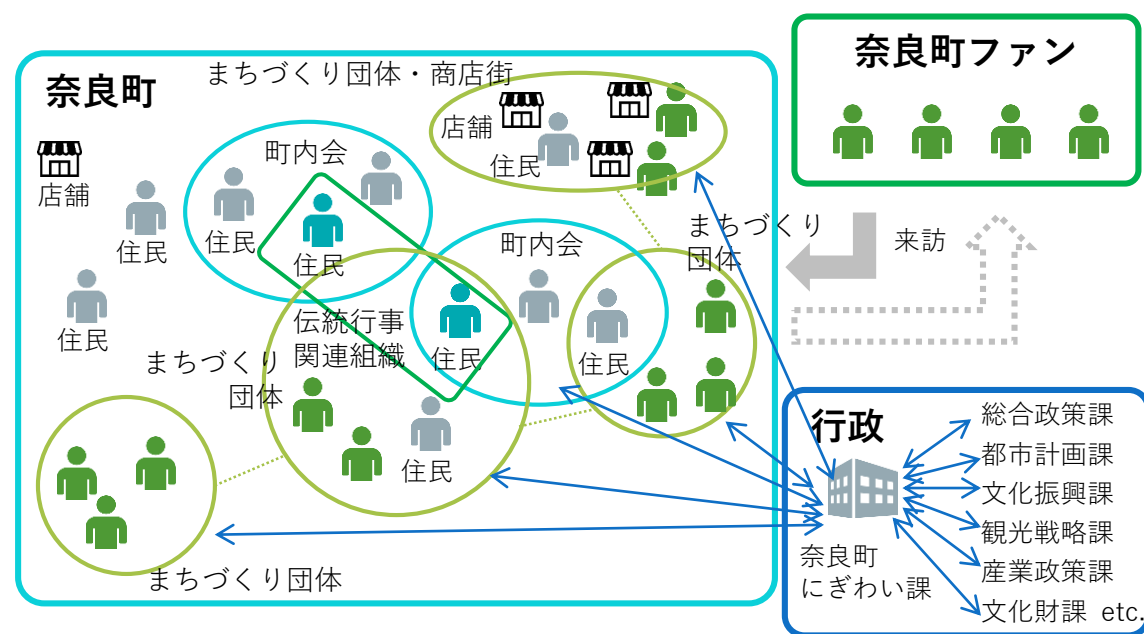
現状

奈良町に携わる関係者は多岐にわたります。住民や住民で構成される町内会、各町内会が所属する自治連合会に加え、複数の町内会で構成される伝統行事に関連する組織など、地縁による住民主体の組織や団体が複雑に重なり合いながら存在しています。また、住民や住民以外の人が共通の目的のために立ち上げたまちづくり団体が数多くあり、近年は、各まちづくり団体が共通に取り組む事業や行事をきっかけに、情報を共有するなどの緩やかな連携が芽生えつつあります。一方で、住民組織とまちづくり団体との間では距離感を大切にした交流が図られ、協力関係が育まれているところもありますが、より一層の良好な関係構築に向けて各団体がさまざまな手法を模索している状況です。

行政においては、構想実施のために奈良町にぎわい課が中心となり各団体と直接協議を行い、場合によっては、他の団体との情報共有や声掛けによる連携体制を促す支援を行っていますが、行政内での連携については、情報共有や意見照会などによる連携にとどまっています。

奈良町ファンは、主として奈良町を来訪し施設や店舗で奈良町を体感することで、関係が成り立っていますが、HPやSNSを用いた奈良町ファン向けのアンケート調査では、ただ来訪するだけの状況から一步踏み込みたいと考えているものの、そのきっかけや関わり方が分からないといった意見も見られました。（資料編参照）

構想の実施イメージ（現状）



課題

- ①奈良町に携わる組織、団体は目的や主旨、構成メンバーが様々であり、一体的な実施体制を組織化するよりも、実情・実態に即し、各組織や団体の主体性を活かした連携の仕組みが求められています。また、行政による各団体等の状況を踏まえた支援・連携が必要です。このような視点に立ち、様々な立場の団体同士が、団体に所属しない人も含め緩やかにつながりあう仕組み作りが必要です。
- ②行政内の連携は、具体的な内容がない段階では行いにくいという課題があり、各プランで連携方法を検討する必要があります。
- ③奈良町ファンとの関わりについては、ニーズを把握しより深い関わり方を検討する必要があります。

2. アクションプランの進捗状況 -Ver.1のアクションプラン-

アクションプラン1 地域の伝統行事の紹介		関係課	奈良町にぎわい課
奈良町の自治会や地域で行われている伝統行事やお祭りを網羅的に把握・調査し、それらを紹介する冊子を作成します。冊子は毎年作成し、市民、観光客へ配付し、ホームページ、SNS等で紹介するなどの広報を強化することで、市民・観光客の参加を促し、行事の活性化を図ります。 行事の活性化による地域住民、新規転入者、まちづくり団体との間のコミュニケーションの活発化を期待します。		自己評価	
		・各行事の取り組みなどを調査することで、近隣であっても他の自治会等の行事の内容を把握していないことが分かった。調査内容を基に、伝統行事を紹介する冊子を作成し配布したことで、調査により得た情報を地域内外に発信することができました。 ・奈良県立大学と協働で調査を実施することで、奈良町での調査研究が進み、その成果が大学の授業で取り上げられるなど、学生への奈良町の魅力発信につながりました。 ・冊子を配布することで事業が周知され、3年目には実施当初よりも多くの地域から行事の情報や取り組み内容を収集することができ、地域の伝統行事を継承するために地域が抱える課題を把握することができました。	
進捗状況		今後の対応	
H30	H31・R1	R2	
・奈良県立大学と協働で、奈良町の伝統行事(地域の社寺の行事)の実態調査を実施。奈良町の神社のお祭り14行事で、関係者へのヒアリング調査と当日の現地調査を実施しました。 ・上記調査を踏まえ、『伝統行事＆お祭りBOOK「奈良町」Vol.1 神社の祭り」を20,000部発行し、主に奈良町周辺エリアに市民だよりと一緒に配布しました。	・奈良県立大学と協働で奈良町の伝統行事(地域の地蔵盆)の実態調査を実施。寺院や自治会等で実施される地蔵盆52箇所での現地調査を実施しました。 ・上記調査を踏まえ、『伝統行事＆お祭りBOOK「奈良町」Vol.2 地蔵盆』を20,000部発行し、主に奈良町周辺エリアに市民だよりと一緒に配布しました。	・Vol.3発行のために、地域の伝統行事に関するアンケートを、飛鳥・済美・鼓阪・佐保・椿井地区の自治会長、まちづくり団体会員、個人を対象に実施しました。(資料編参照) ・上記アンケート調査を踏まえ、『伝統行事＆お祭りBOOK「奈良町」Vol.3総括編』を発行しました。	・奈良町の魅力を形成する重要な要素である地域の伝統行事を継承するため、3か年の取り組みで把握した地域の課題を踏まえ、各自治会長やまちづくり団体等と連携し、具体的な支援を検討します。

2. アクションプランの進捗状況 -Ver.1のアクションプラン-

アクションプラン1	地域の伝統行事の紹介	関係課	奈良町にぎわい課
-----------	------------	-----	----------

・ 作成冊子



Vol.1
神社のお祭り

<掲載内容>
秋祭り・夏祭り
14行事
奈良町歳時記
96行事

調査期間
H30年6月19日
～H31年2月28日
参加学生1名



Vol.2
地蔵盆

<掲載内容>
地蔵盆再発見
地蔵盆
45行事

調査期間
R1年6月24日
～R2年2月12日
参加学生8名



Vol.3
マチ(都市)のまつり

<掲載内容>
インタビュー
奈良町歳時記
154行事

・ 自治会アンケート回答数の上昇

実施年度	飛鳥地区	済美地区	鼓阪地区	佐保地区	椿井地区	総数
平成30年度	21/85地区	27/66地区	18/34地区	19/73地区	21/51地区	106/309地区
令和2年度	51/83地区	43/64地区	19/33地区	56/76地区	36/51地区	205/307地区
回答数増減	30地区増	16地区増	1地区増	37地区増	15地区増	99地区増

回答数が
1.9倍に！

回答数が
1.9倍に！

2. アクションプランの進捗状況 -Ver.1のアクションプラン-

アクションプラン2	新たな枠組みによる景観保全の検討と支援		関係課	都市計画課 奈良町にぎわい課						
奈良町全体での、都市景観形成基準、届出制度の見直し、景観法に基づく景観の規制・誘導の徹底を図り、町家の特徴的な居住環境の再評価も含め、地域住民が町家の維持、継承、普及していくための意識啓発を促す条例の制定を検討し、町並みの悪化を防ぎます。奈良町都市景観形成地区以外では、新たな景観地区、地区計画などによる景観保全のあり方を検討します。 また、自治会、まちづくり団体等による景観づくり活動に対して、職員派遣等の支援も実施し、住民による身近な景観づくり活動を応援します。			自己評価							
			・都市景観形成地区内行為届出により、景観の規制・誘導を行っています。 ・よりきめ細やかな地区区分や基準設定などを中心に計画内容を検討するとともに、令和4年の改正に向けてガイドラインの作成などを進めています。 ・まちづくり団体等による景観づくり活動（シンポジウムや研修会）、また大学の景観に関する授業などに職員を派遣しました（計10回）。							
			今後の対応							
			・ガイドライン等を活用することで、新たな景観計画の規制内容をわかりやすく周知し、地区に応じた景観誘導に努めます。							
進捗状況 <table><tr><td>H30</td><td>H31・R1</td><td>R2</td></tr><tr><td> ・平成30年度は、都市景観形成地区内行為届出が11件あり、景観の規制・誘導を行いました。 </td><td> ・令和元年度は、都市景観形成地区内行為届出が19件あり、景観の規制・誘導を行いました。 また、令和4年の奈良市景観計画第2回改正に向けて、地区区分や基準設定などについて検討しました。 </td><td> ・令和2年度は、都市景観形成地区内行為届出が6件（令和3年2月1日現在）あり、景観の規制・誘導を行いました。 また、令和4年の奈良市景観計画第2回改正に向けて、基準をわかりやすく伝えるために、ガイドラインの作成を進めています。 </td></tr></table>					H30	H31・R1	R2	・平成30年度は、都市景観形成地区内行為届出が11件あり、景観の規制・誘導を行いました。	・令和元年度は、都市景観形成地区内行為届出が19件あり、景観の規制・誘導を行いました。 また、令和4年の奈良市景観計画第2回改正に向けて、地区区分や基準設定などについて検討しました。	・令和2年度は、都市景観形成地区内行為届出が6件（令和3年2月1日現在）あり、景観の規制・誘導を行いました。 また、令和4年の奈良市景観計画第2回改正に向けて、基準をわかりやすく伝えるために、ガイドラインの作成を進めています。
H30	H31・R1	R2								
・平成30年度は、都市景観形成地区内行為届出が11件あり、景観の規制・誘導を行いました。	・令和元年度は、都市景観形成地区内行為届出が19件あり、景観の規制・誘導を行いました。 また、令和4年の奈良市景観計画第2回改正に向けて、地区区分や基準設定などについて検討しました。	・令和2年度は、都市景観形成地区内行為届出が6件（令和3年2月1日現在）あり、景観の規制・誘導を行いました。 また、令和4年の奈良市景観計画第2回改正に向けて、基準をわかりやすく伝えるために、ガイドラインの作成を進めています。								

2. アクションプランの進捗状況 -Ver.1のアクションプラン-

アクションプラン2	新たな枠組みによる景観保全の検討と支援	関係課	都市計画課 奈良町にぎわい課
-----------	---------------------	-----	-------------------

●ならまち・きたまち歴史的景観形成重点地区の地区区分・基準改正案

改正のポイント

- ・基準明確化
- ・景観特性に応じた景観の規制・誘導を図るため、景観形成重点地区内の地区区分の細分化

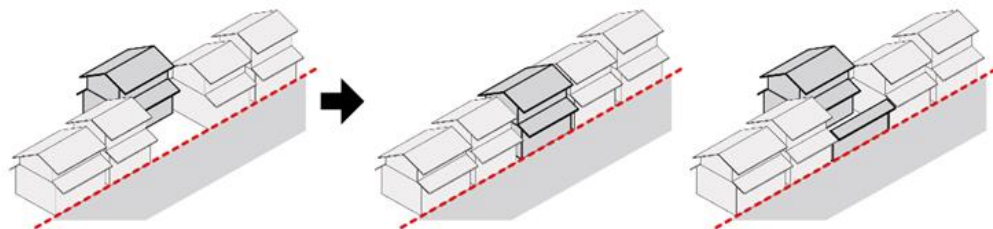
基準A-5：町並みの壁面線をそろえること。やむをえず後退させる場合は、塀等を設置するなどにより、町並みの連続性を維持すること。

適用地区：ならまちA・B・C、きたまちB・C

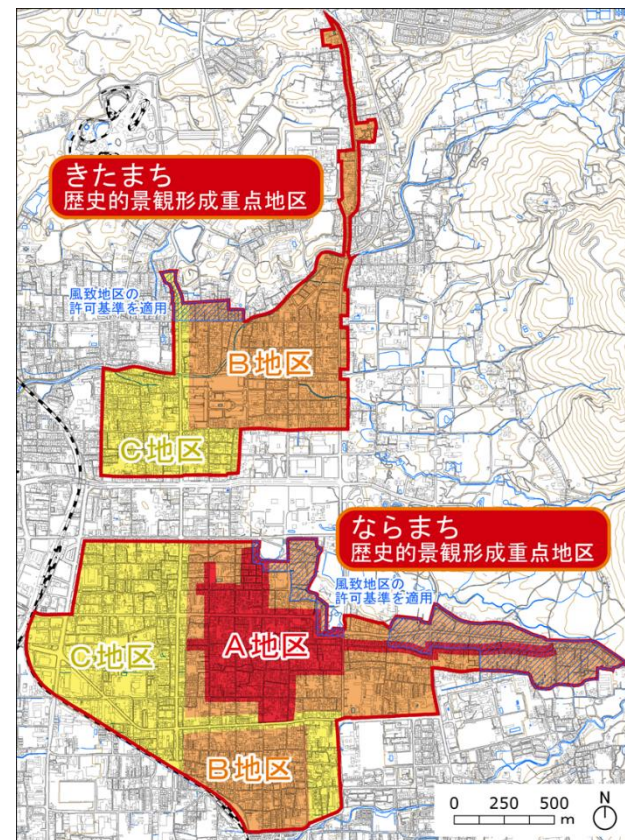
✕ 隣接する建築物と壁面線が揃っていない

○ 隣接する建築物と壁面線を揃える

○ 塀を設置して町並みの連続性を維持する



景観形成重点地区の景観形成基準解説図イメージ（予定）



ならまち・きたまち歴史的景観形成地区の地区区分（予定）

2. アクションプランの進捗状況 -Ver.1のアクションプラン-

アクションプラン3	伝統的な町家が残るエリアでの重点的な保全手法の検討		関係課	都市計画課・奈良町にぎわい課・文化財課
奈良町の中でも、特に伝統的な町家等約150軒がまともに残るエリアでは、年間5件程度の修理・修景事業への補助を継続して実施し、町並み景観の劣化を防ぎます。 また、町家を継承し、町並み景観の質を向上するために、電線類の地中化等による景観整備モデル事業、地区計画の策定、重要伝統的建造物群保存地区の選定などによる重点的な景観の保全手法を検討し、伝統的な町家等の保存・継承を促進します。			自己評価	
			・平成19年の調査時の歴史的建造物の件数648件が、平成30年度の調査時には527件に減り、11年で約19%の歴史的建造物が減少していることがわかりました。 ・上記調査成果を『奈良町だより』で報告することで、地域住民への普及啓発に努めました。 ・庁内WGを実施し、地区内の歴史的建造物の特徴を整理することができ、保全手法を検討する基礎資料を作成することができました。	
進捗状況			今後の対応	
H30	H31・R1	R2		
・7件の修理事業を実施しました。 ・平成19年に教育委員会が実施した『奈良町地区歴史的町並み資産調査』と同範囲で、残存状況を調査しました。 ・重点的な景観の保全手法を検討するため、奈良町にぎわい課、文化財課、景観課※でWGを4回実施しました。	・9件の修理事業を実施しました。 ・関係課でWGを実施し、地区内の歴史的建造物の特徴を整理しました。 ・重要伝統的建造物群保存地区の選定も含めた町並み保存手法について、文化庁調査官による現地指導を受けました。 ・昨年度の調査成果を『奈良町だより』で報告しました。	・5件の修理事業を実施しました。 ・地区内の伝統的な建物の外観について、建物の形態や特徴ごとに整理しました。 ・当該年度は、年度当初に地域住民への説明のための自治会長事前ヒアリングを実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため実施できませんでした。	・庁内での検討内容、及び、専門家の意見を踏まえ、地域住民と協議を深め、重点的な景観の保全手法を検討します。	

2. アクションプランの進捗状況 -Ver.1のアクションプラン-

アクションプラン3	伝統的な町家が残るエリアでの重点的な保全手法の検討	関係課	都市計画課・奈良町にぎわい課・文化財課
ワーキンググループの実施により、都市景観形成地区周辺の町家の類例写真集を作成しました。都市景観形成地区建造物保存整備事業費補助金の修景内容の相談業務等の業務に有効活用しています。 類例写真集は、町家形式で分類し、さらに窓、つし2階腰壁といった部位ごとの分類を行いました。 左) 町家形式ごとの分類事例 右) 部位ごとの分類事例			
伝統的建造物 類例写真集 <平屋建・つし2階建>  美地之内町 20 西新屋町 44 (西新屋町 4 松山家住宅主屋南棟) 鶴南院町 (現存せず) 元興寺町 4 (藤岡家住宅) 南城戸町 14 高御門町 7 川之上町 11 勝南院町 12-1 (坂本家住宅主屋)		伝統的建造物 類例写真集 <腰高格子窓> 腰壁が木製でないもの ・左官壁は伝統的な意匠ではなく時代性を示す 参考…参考としてよい意匠の場所  橋本町 12-1 南市町 14-1 騎戸町 11 参考:2F 紀寺町 977-3 参考:2F 阿字万字町 19 現存せず 参考:2F 舘町 20 十輪院町 13 参考:×	

2. アクションプランの進捗状況 -Ver.1のアクションプラン-

アクションプラン4		インターネットやSNSによる奈良町顕彰制度の創設		関係課	奈良町にぎわい課
奈良町での地域住民、商店主の自発的な“にぎわいづくり活動の支援、普及啓発の推進を目的に、①町家を魅力的に利活用している住宅や店舗、②奈良らしい商品を開発・販売・発信している店舗、③地域住民が選ぶ奈良町にあって良かった店舗を対象に、インターネットやSNSを活用したオンライン投票を実施します。 受賞作品や受賞店舗を紹介することで、伝統的な町家での居住モデルづくり、町家の利活用の促進、奈良町の新たな魅力や多様な観光スポットの創出を目指します。				自己評価	
				・協働相手候補となる各種団体と協議を重ねたが、実施に至らなかった。主な理由は、各種団体の活動趣旨と異なったこと、顕彰の基準設定が難しく、選ぶ行為ができないとの意見がありました。 ・プランを一部変更し、情報発信に重点を置き、インターネットやSNSによる情報発信に取り組む団体と連携して事業を実施したが、新規に立ち上がった団体であるため、主に安定的に運営するための基盤づくりに取り組んでいます。 ・SNSを活用した情報発信について、SNSは一過性の発信が主体であり、情報の蓄積のためにはその他の取り組みが求められることがわかりました。	
進捗状況				今後の対応	
H30	H31・R1	R2		・3か年の取り組みやインターネットを活用したその他の団体の活動を踏まえて、プランを見直し、実現可能なプランを再設定します。	
・奈良らしい商品を開発、販売、発信している店舗の顕彰のため、「中心市街地活性化研究会」と2回協議しました。 ・町家を魅力的に利活用している住宅や店舗の顕彰のため「奈良町家塾」と1回協議しました。	・インターネットやSNSによる奈良町の魅力発信のため、「奈良町Likeプロジェクト」と10回協議しました。	・「奈良町Likeプロジェクト」により、8月からInstagramとHPで、月に1回、奈良町Likeスポットを紹介する事業が始まりました。			

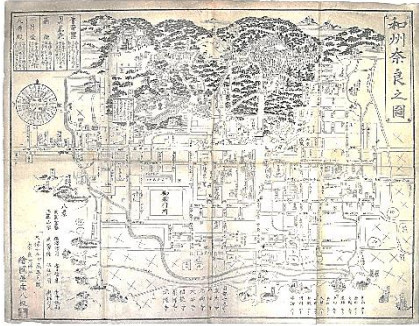
2. アクションプランの進捗状況 -Ver.1のアクションプラン-

アクションプラン4	インターネットやSNSによる奈良町顕彰制度の創設	関係課	奈良町にぎわい課
	奈良町Instagramを活用して奈良町の様々なスポットを紹介するプロジェクトを開始し、毎月1回、奈良町のおすすめのスポットを紹介しています。 下) 奈良町LikeのInstagram投稿 右) 奈良町LikeのHP 		

2. アクションプランの進捗状況 -Ver.1のアクションプラン-

アクションプラン5		奈良町の歴史・文化史料の利活用の促進	関係課	文化財課
史料保存館に保存されている史料のデジタルアーカイブ化を実施し、史料の2次利用を促進するオープンデータ化に取り組み、観光での利活用等を検討し、各種団体と協働した新たな展示機会や展示空間の創出等により地域で継承されてきた史料の利活用を促進し、奈良町の歴史・文化の理解を促します。 また、奈良町の価値を広く発信するため、歴史・文化・伝統・経済・自治・町家・町並み・生活文化等の分野での学術研究者や研究機関と連携、協力し、研究成果の発信や利活用の促進を目指します。			自己評価	
			・史料のデジタル化はR2年度内に公開を始める予定で今後も着実に公開を進めていきます。周辺施設や奈良町で活動するボランティア団体と連携した事業を実施し、奈良町の歴史的な魅力を幅広く発信しました。 ・奈良文化財研究所との連携研究により、奈良町の旧家に伝わり従来知られていない古文書等を新たに確認し、その歴史的な価値が明らかになりつつあります。	
進捗状況			今後の対応	
H30	H31・R1	R2	・史料のデジタル化、公開を着実に進め、公共観光・文化施設交流会等を通して利活用を促し、奈良の歴史的な価値を広く周知するため、周辺施設等との連携、協働の幅を更に広げる予定です。R3年度は元興寺文化財研究所、御霊神社と企画展示を計画中、着実に実施して、奈良町の歴史文化の魅力を発信します。 ・奈良文化財研究所との連携研究も継続し、対象史料の文化遺産的価値を高め利用を図るよう、文化財指定を目指します。	
・史料デジタル化のための対象史料検討・調査を実施。奈良町にぎわいの家・ボランティアガイドの会「朱雀」・氷室神社文化興隆財団・ならまちセンター等と連携して企画展示、見学会、講座を実施し、情報発信に努めました。 ・奈良文化財研究所と連携研究により奈良関係史料(大宮家文書)の調査研究を実施しました。	・2月、3月は、コロナ禍のため一部事業を抑制して実施しました。デジタル化のための館蔵史料の調査・撮影を実施しました。奈良町にぎわいの家と連携した展示は回数を減らして実施し、他の連携事業は予定通り開催して情報発信を継続しました。 ・奈良文化財研究所との史料調査研究も回数を減らして実施しました。	・コロナ禍により可能な範囲で事業実施しました。史料調査、撮影を継続し市HPでデジタル化史料の公開を準備しました(R2年度中に一部史料の公開予定)。奈良町にぎわいの家、ボランティアガイドの会「朱雀」との連携事業は内容変更して一部実施し、情報発信を継続しました。 ・奈良文化財研究所との史料調査研究は回数減で継続しています。		

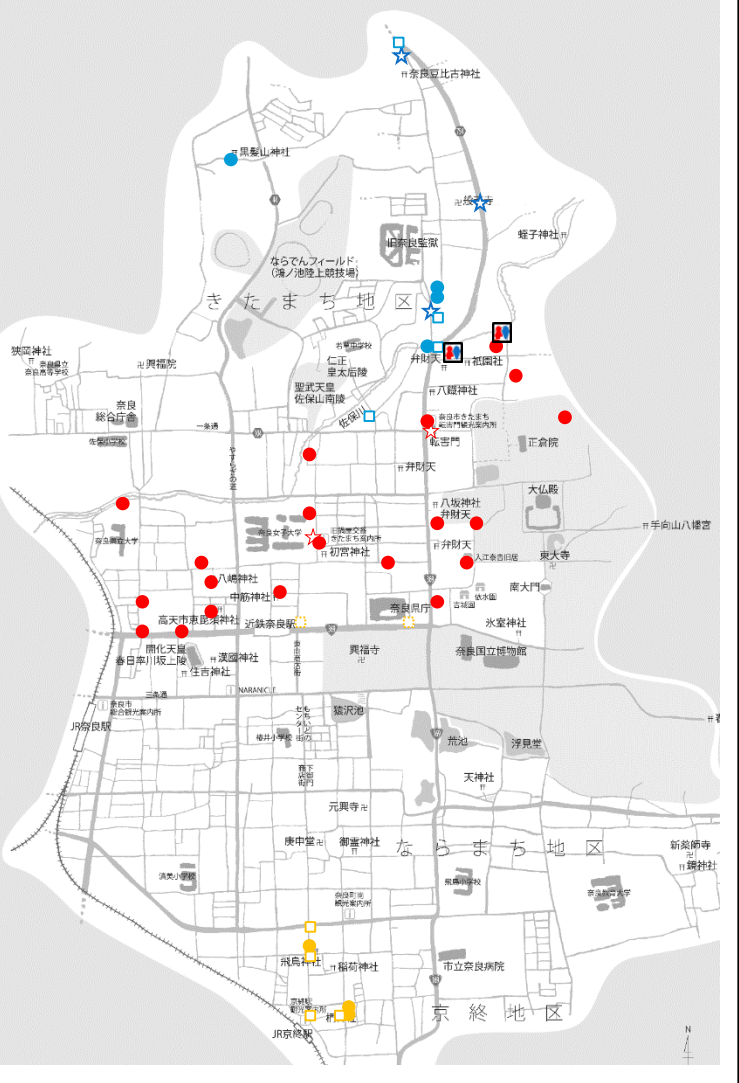
2. アクションプランの進捗状況 -Ver.1のアクションプラン-

アクションプラン5	奈良町の歴史・文化史料の利活用の促進	関係課	文化財課
 和州奈良之図  奈良町絵図 (部分 元興寺付近)  史料保存館HP デジタルギャラリー デジタル化、公開予定史料の一部	 奈良市街(奈良名勝写真帖)  すべり坂から三条通り  京終駅	 史料保存館史料出張展示 タイムトラベル奈良町 尾花座 9月15日(土) (午後2時から解説、4時まで展示します) 奈良町にぎわいの家 奈良市中新屋敷5 TEL. 0742-20-1997 チラシ 奈良町にぎわいの家共催 出張展示	 展示説明  ボランティアガイドの会「朱雀」共催 奈良町ガイドツアー

2. アクションプランの進捗状況 -Ver.1のアクションプラン-

アクションプラン6	観光案内板・解説板、おもてなし民間トイレ等の充実		関係課	奈良町にぎわい課 奈良市観光協会
奈良町の多様な魅力を、地域住民、まちづくり団体、観光ボランティア団体等と協働して再発掘し、特に、設置数が不足しているエリアを重点的に、3年間で約30基の観光案内板や解説板を設置して、奈良町の魅力発信を強化します。具体的な設置場所については、地域住民、まちづくり団体、観光ボランティア団体と検討します。 設置する看板、記載内容は、県・市で連携し統一するとともに、奈良町の景観に配慮したデザインとし、また、指示標識の見直しやおもてなし民間トイレの充実も含め、回遊しやすい観光環境づくりを目指します。			自己評価	
			・ならボランティアガイドの会（朱雀）と一緒にきたまちの散策ルートを設定し、実際に散策してルート上の拠点となる施設を検討し、自治会長へのアンケートにより地域の歴史を紹介する看板を設置したことで、事業を協働で実施することができました。また、必要とされる箇所に適切に看板を設置することができ、一定の回遊しやすい観光環境が整いました。	
進捗状況				
H30	H31・R1	R2	今後の対応	
・きたまちエリアに、観光案内看板2基、観光名所解説看板20基を設置しました。 ・きたまちのおもてなしトイレの新規追加を奈良市観光協会と協働で実施し、2か所増え、計4か所となりました。	・京終エリアに、観光名所解説看板3基、指示標識4基を設置しました。	・きたまちエリアに、観光名所解説板3基、指示標識4基、観光案内板3基を設置しました。		
・既存の観光名所解説看板や観光拠点となる施設などを利活用し、観光ルートとなるトレイル開発を行うなど、さらなる回遊しやすい観光環境づくりを目指します。				

2. アクションプランの進捗状況 -Ver.1のアクションプラン-

アクションプラン6	観光案内板・解説板、おもてなし民間トイレ等の充実	関係課	奈良町にぎわい課 奈良市観光協会
	観光案内看板 ☆平成30年度 ☆令和2年度 観光名所解説看板 ●平成30年度 ●令和元年度 ●令和2年度 指示標識 □令和元年度 □令和2年度 おもてなし観光トイレ ■平成30年度		
			

上) 観光案内看板

左下) 観光名所解説看板 右下) 指示標識

2. アクションプランの進捗状況

新奈良町にぎわい構想関連事業		新奈良町にぎわい構想関連重点施策 町家・町並みの保存・継承		関係課	奈良町にぎわい課
①修理事業の補助金制度の見直しと文化財指定等（平成29年度に補助金制度を見直し、歴史的風致形成建造物指定をしています。） ②民間団体の事前協議による修景事業の質の向上（平成29年度より修景事業で指定機関(奈良町家塾)の意見聴取制度を開始しました。） ③町家関連の補助実績の蓄積や情報公開					
進捗状況				自己評価	今後の対応
	H30	H31・R1	R2		
①	修理事業を実施する町家等については、必ず基礎調査を実施し、調査成果と記録を整理、保管し、文化財課と共有するようにしました。	補助事業実施後に、1件の歴史的風致形成建造物が、登録有形文化財に登録されました。	進捗無し	修理事業を実施する町家を調査し、文化財課と情報共有したことで、基礎資料として活用できるようになりました。	町家保存に対する所有者の定期的な意向把握や文化財指定・登録制度を勧める仕組みづくりを検討します。
②	事業の質の向上のため、事前協議を実施した物件の事業完了後の見学会を実施しました。	情報交換会を開催し、奈良町家塾と行政がそれぞれ有する情報を共有できる場を設けました。	前年度同様に情報交換会を開催しました。	情報交換会等の実施により、事前協議の内容の向上に努め、修景事業の質の向上につながりました。	修景事業の質の向上のための取り組みを奈良町家塾と一緒に検討し、実施していきます。
③	補助事業後の修理前後写真、事業内容をHPに掲載するようにしました。	過去の修景事業の事前協議の意見を、情報公開できる形式にまとめました。	補助事業の事前協議のより詳細な内容がわかるような資料を作成し、相談者が閲覧できるようにしました。	わかりやすい資料作りを心掛けることで、相談者への理解促進につながりました。	修景事例のより一層の理解促進のため、ホームページでの情報公開を行います。

2. アクションプランの進捗状況

新奈良町にぎわい構想関連事業

新奈良町にぎわい構想関連重点施策
町家・町並みの保存・継承

関係課

奈良町にぎわい課

- ①修理事業の補助金制度の見直しと文化財指定等（平成29年度に補助金制度を見直し、歴史的風致形成建造物指定をしています。）
- ②民間団体の事前協議による修景事業の質の向上（平成29年度より修景事業での民間団体の意見聴取制度を開始しました。）
- ③町家関連の補助実績の蓄積や情報公開

①町家関連の補助金制度の見直しと文化財指定等



修理事業前に調査を実施

③町家関連の補助実績の蓄積や情報公開



左) 修理事業の事例（修理前後写真と補助概要）をHPに掲載



右) 民間団体による
修景事業での意見聴取内容

調査内容を記録化し、基礎資料として保管・共有

新奈良町にぎわい構想関連事業	奈良町だより	関係課	奈良町にぎわい課
新奈良町にぎわい構想の進捗を地域住民に周知するため、『奈良町だより』を年に1回（合計2回）発行し、奈良町及びその周辺自治会に回覧しました。		自己評価・今後の予定	
		自治連合会を通じて、各自治会に回覧を依頼し、令和元年度に309自治会、令和2年度に307自治会に周知しました。 次年度以降も継続して発行し、今後はより多くの人に周知するために、各町内にある広報板への掲出を検討します。	

新登良町にぎわい構想からのお知らせ

奈良町だより

Vol.1
平成31年3月

【成文率97%】

奈良町の伝統行
平成29年5月から
だったアングレイト
に、奈良町の伝統行
お祭りBOO
今年夏は、地域の
集。奈良町（奈良
ア）にある14社で
様子、お祭りを盛
合しています。ま
だいた地域で継
やお祭りを、奈良
冊子は、奈良町
ホームページで
間予定です。
奈良町に色づく伝
統行事やお祭りを
お楽しみください。
平成31年度は、地
蔵堂を特集する予
です。で、どう
期待ください！



建築基準法の適用除外に関する条例制定を進めています

奈良町の歴史文化資源である町家や歴史的建造物を守り活かすために、歴史的建造物を改修する際に、歴史的・文化的な価値を損なわずに改修できるよう、建築基準法の適用除外を受けられる条例の制定を進めています。

建築基準法の適用除外に関する条例は、近年、全国的に話題になっている条例で、既に、京都市や神戸市などで施行され、適用されています。この条例は、現行法令に適合しない部分を、ソフト面で安全対策を図ることで適用除外を受けるものです。

町家の残存調査を実施
しました！

昨年12月に、町家の重点的な保存・継承を検討するため、奈良市教育委員会と一緒に、元興寺を中心としたエリアで、町家を含む歴史的建造物の残存状況を調査しました。調査結果は、今後、HPなどでお知らせします。



奈良きたまちに、観光名所解南極2基、観光名所解南極2基を設置しました。また、民間施設の整備協力のもと、観光おもてなしステイが2か所増えました。

奈良きたまちは、観光おもてなしステイ（レストラン）
植村牧場
数寄屋美術館
歌壇やかじせん



おもてなしステイ



発行：奈良市（奈良町にぎわい課 TEL:0742-24-8936）
平成31年3月29日

新奈良町にぎわい構想からのお知らせ

奈良町だより

Vol.2
令和2年4月

1941-42

平成30年度に発行した「伝統行事と食文化」の表紙に、奈良県民の代表として、奈良市を挙げておられる。奈良市は、奈良県を代表する観光地であり、奈良県民の生活の中心地である。奈良市は、奈良県を代表する観光地であり、奈良県民の生活の中心地である。奈良市は、奈良県を代表する観光地であり、奈良県民の生活の中心地である。



新たに奈良町家2件が国登録文化財に！

令和2年3月、新たに2件の奈良町家の文化財登録が決定しました。市内の登録有形文化財（建造物）の総数は113件となります。平成8年にできた登録制度は、文化財を緩やかに守り、活かすに守り、活かすしくみです。ご興味のある方は文化財課へ。
(0742-34-5369)



登録が決定した水井家住宅主屋

アクションプラン⑤

京終エリアに観光案内看板を設置しました。

京終駅周辺の観光案内のため、飛鳥神社、神拝社に解説看板を設置しました。のほか、回遊していたりよう指示標識なども設置しています。



神拝社の看板
(時保町)



アクションプラン③

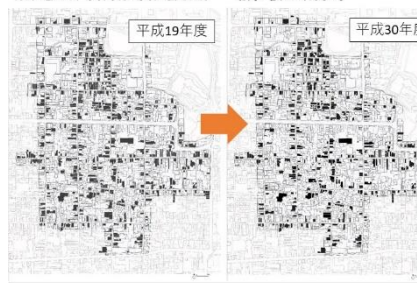
町家などの歴史的建造物が、減少していることがわかりました。

奈良町の歴史文化資源である町家や歴史的建造物の残存状況を平成30年12月に調査しました。調査範囲は、平成17年度に奈良市教育委員会が実施した残存状況調査の範囲（三条通以南、市内循環道路以北で、安らぎの道と国道169号線・天理線の間のエリア）です。調査の結果、11年間で121件の歴史的建造物がなくなり、全体で約19%減少していることがわかりました。調査後も、町家などの歴史的建造物の取り壊しが確認されており、年々減少しています。

奈良市では、奈良市歴史的風致維持向上計画に基づき、奈良町及び奈良公園地区内

調査 年度	戦前以前に建てられた 建物件数
H19	648件
H30	527件

の歴史的風致を維持向上する建物（歴史的風致形成建物）を指定しています。指定されると、建物の修理に対して補助を受けるなどの優遇制度がありますので、度に興味のある方は、奈良町にぎわい創造課にお問い合せください。



発行：奈良市（奈良町にぎわい課 TEL:0742-24-8936）
令和2年6月9日

3. アクションプランVer.2

新奈良町にぎわい構想関連重点施策
暮らしと調和した観光の促進

Ver.1関連アクションプラン（プラン1）

アクションプラン

①地域の伝統行事の継承

課題

- ①奈良町では、中世から続く伝統行事も含め150以上の行事が根付き、地域の魅力となっていますが、少子高齢化、地域コミュニティの希薄化により、その継承が危ぶまれています。
- ②伝統行事は自治会単位で行われていることも多く、課題解決のための工夫が取られていても、横の連携がなく、情報交換や共有が行われていない状況です。

アクション

- ①地域の伝統行事を継承するための工夫について情報収集し、自治会同士で情報交換できる座談会を開催します。
- ②自治会の個別の問い合わせに情報提供を行います。

目標・目途

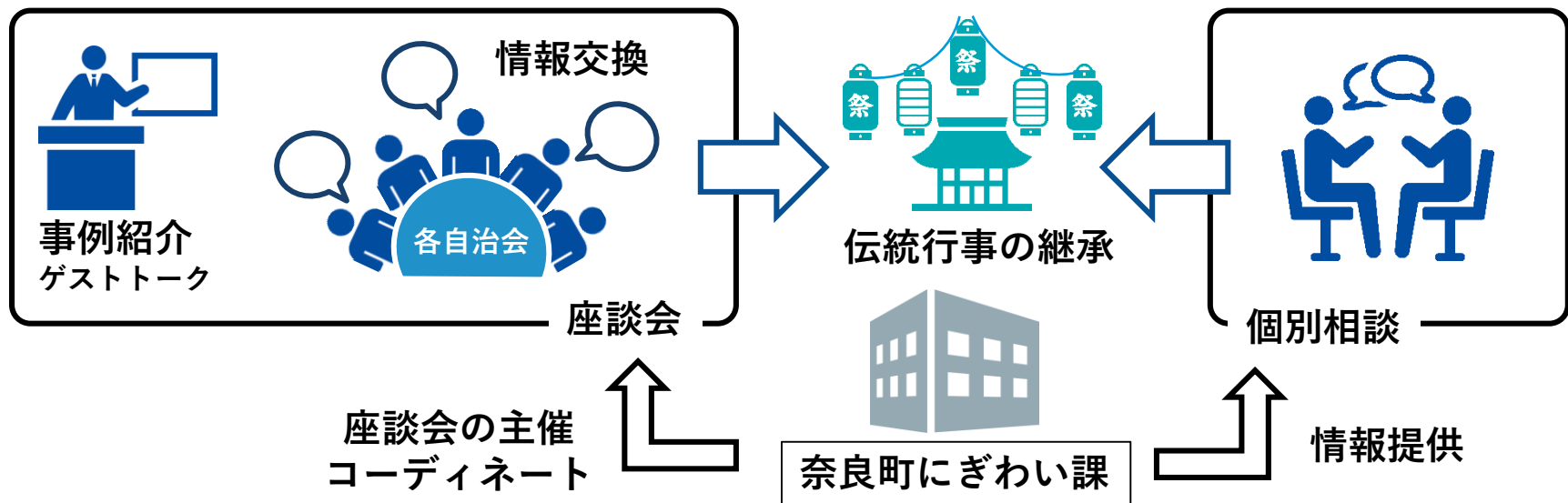
中期

Ver.1で実施した自治会長アンケートの結果を踏まえ、地域の伝統行事を実施している自治会向けの座談会を開催し、各自治会での取り組み事例を共有し、情報を交換できる場を提供します。

長期

地域の伝統行事を継承するためのサポートボランティア団体の設立など、奈良町ファンが奈良町の伝統文化に携わることができる環境を整えます。

プランイメージ



3. アクションプランVer.2

新奈良町にぎわい構想関連重点施策
暮らしと調和した観光の促進

Ver.1関連アクションプラン（プラン4・プラン5・プラン6）

アクションプラン

②ならまち・きたまち・京終・高畑エリアが連携したイベントの実施

課題

①奈良町の各エリア内では様々な団体が活発に活動し、特色あるまちづくりが行われている一方で、各エリアが離れていることなどから、連携した取り組みはあまり行われていません。

②また、奈良町には公共施設（14施設）やまちかど博物館などの施設がありますが、その設置目的、運営団体や運営方法がさまざまに連携した取り組みが行われづらい状況です。

アクション

①持続可能なイベント実施を目的に、各エリアで活動するまちづくり団体、公共施設、社寺、飲食店、地域住民、行政の連携推進体制を構築します。

②まちづくり団体と協働し、奈良町（ならまち、きたまち、京終、高畑）全体を巡ってもらえるような観光ルートを設定した散策マップを作成します。

目標・目途

中期

奈良町の各エリア（ならまち、きたまち、京終、高畑）の既存まちづくり団体、公共施設、飲食店などが連携して、共通のテーマでの展示や特別公開といったミニイベントを同期間に集中的に行い、奈良町エリアを巡ってもらうためのイベント「奈良町WEEK(仮称)」を毎年開催します。イベントの推進運営のため、各種団体、施設、飲食店などの横のつながりの強化を目指します。

長期

連携施設、団体、飲食店数を増やし、持続可能な活動となるよう目指します。

プランイメージ

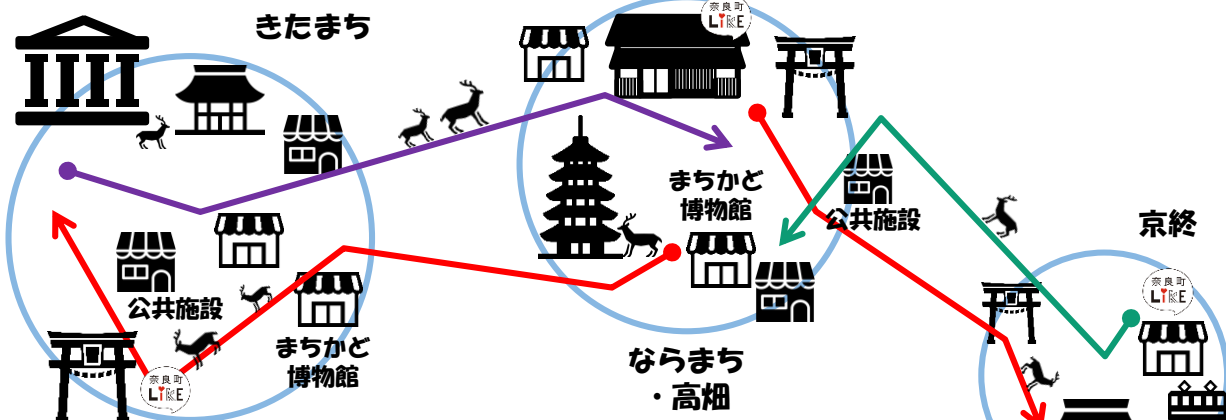
秋の約1週間
各エリアの施設と連携して
ミニイベントを実施します

各エリアを繋ぐ
観光ルートを設定し
散策マップを作成！

60分
コース

90分
コース

4時間
コース etc.



まちづくり団体やボランティアガイドと協働作成

民間・公共施設：ミニイベントの企画・運営
行政：広報、コーディネート

3. アクションプランVer.2

新奈良町にぎわい構想関連重点施策
奈良町の総合研究体制の確立

Ver.1関連アクションプラン（－）

アクションプラン

③民学官連携による学際プロジェクトの実施

課題

- ①奈良町では多くの大学や学生が調査を行い、地域住民やまちづくり団体が協力していますが、その実態や研究内容、成果があまり地域に還元されていません。
- ②研究の基礎となる情報や既往調査が整理されておらず、情報が集約されていません。

アクション

- ①地域住民・まちづくり団体、各大学と連携した課題解決型授業、地域住民への成果発表会を実施し、継続的に開催する環境を整えます。
- ②研究促進のため、既存の行政調査の情報を集約します。また、奈良町研究の成果を集約し公開します。

目標・目途

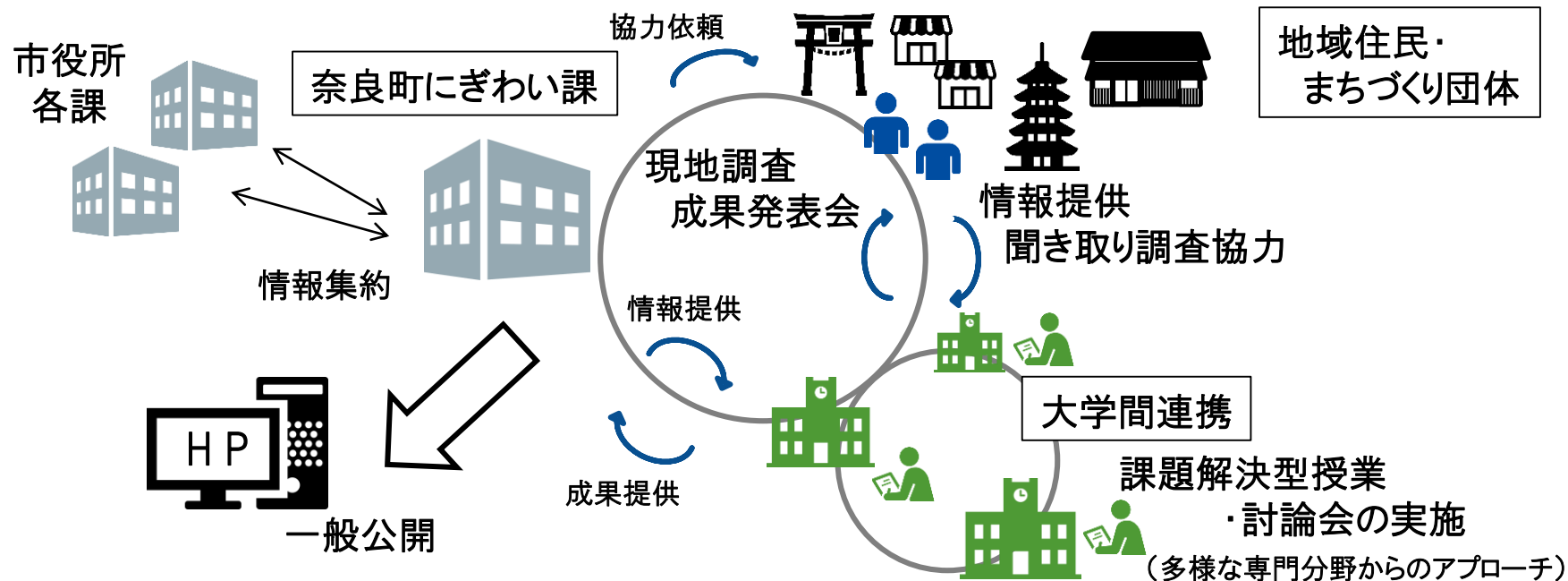
中期

大学や地域住民、まちづくり団体と連携し、奈良町をエリアとしたフィールドワーク（課題解決型授業）や地域発表会を実施し、HPで成果を発表し、奈良町研究を促進します。

長期

奈良町関係者となる担い手の育成も視野に入れ、奈良町の歴史、文化、伝統、経済、自治、町家・町並み、生活文化等のあらゆる分野に関わる学際的プロジェクト等が推進される環境づくりを行います。

プランイメージ



3. アクションプランVer.2

新奈良町にぎわい構想関連重点施策
町家を活かした居住環境・商業環境の形成

Ver.1関連アクションプラン（－）

アクションプラン

④町家の利活用の促進

課題

- ①平成23年度から開始した町家バンク制度は、平成27年度から奈良市空き家バンク・町家バンク制度として運用されていますが、一貫して物件利用希望者数に対し、物件登録件数が少ないことが課題です。
- ②町家バンクに登録できる物件の指針が明確ではないこと、また、登録できる条件の一つである建築年代が戦前までとなっており、物件登録の希望があっても、登録につながらないケースがあります。

アクション

- ①物件登録を増やすために、市民だよりや自治会、自治連合会等を通じて周知を行うとともに、町家バンクに登録できる物件の指針を明確にし、登録条件である建築年代の緩和のための規則改正を行います。
- ②他市町村での町家バンク制度について調査し、物件登録数を増やすための取り組みを検討し、実行します。

目標・目途

中期

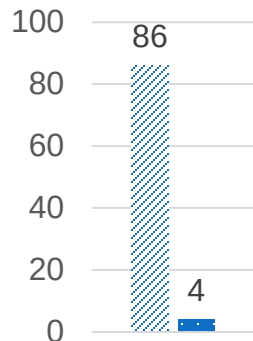
町家バンク制度への物件登録数を増やすために、制度の見直し、制度の周知徹底を行います。利活用事例の紹介や物件情報の整理など、町家を利活用したい人、利活用してもらいたい人の役に立つ情報を提供します。

長期

物件登録数を増やすとともに、町家を取りまく諸課題に、さまざまな関係者が連携協働して支援する仕組みづくりを検討するなど、物件登録者、利用登録者双方が利活用しやすい環境を整え、物件の利用制限などのよりわかりやすい物件情報を提供しながら、創業支援事業との連携を検討するなど、町家の利活用の促進を目指します。

プランイメージ

町家バンク登録数
(令和3年2月時点)



さまざまな要因で
物件登録数が
圧倒的に少ない！



「町家」の基準がはっきりしない
わたしの家も登録できるの？

町家バンクで相談していても、
相手が見つかって契約するときは
不動産屋さんを探さないで…



賃貸価格が折り合わない。
価格設定が難しい…

町家バンクの情報がわかりにくい



3. アクションプランVer.2

新奈良町にぎわい構想関連重点施策

Ver.1関連アクションプラン（プラン2、プラン3）

アクションプラン

⑤良好な町並み景観の保全と伝統的な町家が残るエリアでの重点的な保全手法の検討

課題

①町家が良く残っている奈良町中心部において、平成19年から11年で約19%の歴史的建造物が減少していることがわかりました。また、平成30年から令和2年の2年間でも5件程度町家が減少するなど、町家は減少傾向にあります。

②元興寺を中心とするエリアでは、依然として町並みの質が低下しています。

アクション

①町家が減少していることを周知するとともに、町家を保存し継承するための手法について、地域住民と協議していきます。

②新しい景観計画を周知し、ガイドライン等を活用することで地区に応じたわかりやすい景観誘導を行います。

目標・目途

中期

奈良町の中でも、特に伝統的な町家等約150軒がまともに残るエリアでは、年間5件程度の修理・修景事業への補助を継続して実施し、町並み景観の劣化を防ぎます。また、町家を継承し、町並み景観の質を向上するために、重要伝統的建造物群保存地区の選定などによる重点的な景観の保全手法を検討し、伝統的な町家等の保存・継承を促進します。

長期

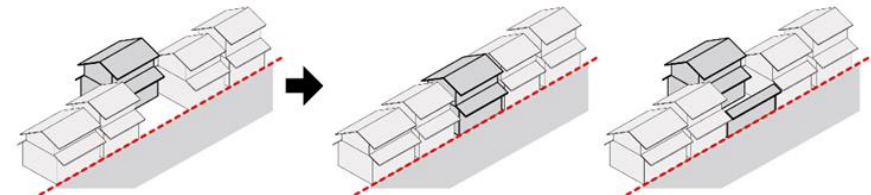
重点的に町家等の保存・継承を促進するとともに、奈良町全域で町家を継承していくための町家条例などの新たな手法や電線類の地中化による景観整備など良好な景観の保全手法を検討します。

プランイメージ



景観形成重点地区の景観形成基準解説図イメージ

× 隣接する建築物と壁面線が揃っていない ○ 隣接する建築物と壁面線を揃える ○ 塀を設置して町並みの連続性を維持する



わかりやすい景観誘導



4.資料編

地域の伝統行事&お祭りBOOK「奈良町」Vol.3 自治会アンケート結果

アンケート概要

調査手法：記名による選択式及び自由記述式のアンケート調査票を配布

調査対象：飛鳥地区、済美地区、鼓阪地区、佐保地区、椿井地区の各自治連合会に所属する自治会長

調査期間：アンケート配布期間 令和2年9月上旬から下旬

アンケート回収期間 令和2年11月30日（月）まで

配布方法：飛鳥地区、済美地区、鼓阪地区、佐保地区、椿井地区の各自治連合会の役員会で配布

回収方法：郵送（一部手渡し及びFAX）

回収率：66.8%（205件／307件中）

地域の伝統行事&お祭り BOOK「奈良町」Vol.3

自治会アンケート

奈良市では、皆様のご協力のもと、平成30年度、令和元年度に地域の伝統行事を紹介する事業として『地域の伝統行事&お祭りBOOK奈良町』Vol.1（神社のお祭り）、Vol.2（地蔵盆）を作成し、市民だよりとともに配布いたしました。当事業の最終年度にあたる今年度は、皆様にご協力いただくアンケートの結果を踏まえ冊子を作成する予定です。

つきましては、当アンケートにご協力くださるようお願いいたします。なお、アンケートの内容については、個人が特定できない形で冊子に掲載することがありますので、あらかじめご了承ください。

自治会名		回答者役職	
回答者氏名		回答者連絡先	

各設問の該当する番号に○をしてください。

問1）所属する自治会で伝統行事を主催、または、地域の伝統行事に参加など何らかの形で伝統行事に参加していますか。

- ①はい →問2へ
②いいえ →問7へ

問2）地域の伝統行事を残していきたいと思いませんか。

- ①思う
②思わない
③どちらともいえない

（理由）

問3）地域の伝統行事を継承するために課題を抱えていますか。

- ①はい
②いいえ

（課題を具体的に教えてください）

問4）伝統行事を継承するために工夫していることはありますか。

- ①ある
②ない

（取り組んでいる工夫を具体的に教えてください）

問5）他の町で取り組まれている工夫について参考にしたいですか。

- ①したい
②したくない

問6）伝統行事に参加することについてどう思いますか。（複数回答可）

- ①楽しい
②誇りである
③地域の結束になる
④当たり前のことである
⑤致し方ないことである
⑥本当は参加したくない

問7）個人的に伝統行事に参加する機会があれば、参加したいですか。参加してみたい行事があれば教えてください。

- ① したい
②したくない

（理由・参加してみたい行事等）

裏面もあります。

回答締切：令和2年11月30日（月）まで

お問い合わせ先：奈良市観光経済部 奈良町にぎわい課（原田・田中）
〒630-8253 奈良市鳴川町 37-4
TEL.0742-24-8936 FAX.0742-24-8937

（●●地区）

奈良町歳時記更新内容確認

地域の伝統行事&お祭りBOOK「奈良町」V o 1. 1、2で掲載した伝統行事を、V o 1. 3でまとめて一覧で掲載する予定です。下記の項目を掲載しますので、内容に変更がある場合は赤字で訂正ください。概ね行事の日付順に並んでいます。なお、追加で教えていただいた行事も記載しております。そのほか掲載を希望する行事がありましたら、掲載希望欄に記載ください。

月	自治会名	行事名	日時	変更がある場合は赤字で修正ください			
				参加 OK	町内の 人限定	非公開	掲載 しない
3・4月	西木辻中町	稲荷神社の二の午	3月の二の午の日	○			
	今在家町	桜祭り	3月末～4月初めの日曜	○			
	法蓮西町第1・法蓮西町第2	佐保川・川路桜祭り	3月末～4月上旬 の1週間ほど	○			
	法蓮立花町・法蓮桜町	庚申祭	その年の2回目の庚申の日		○		
7月	手貝町	八鐵神社祭礼	4月8日	○			
	中辻北方町	稲荷神社初午	4月第1日曜		○		
	下御門町	椿明神祭	6月1日	○			
	高天市東町・高天市西町	夏祭り（高天市恵比須神社）	7月5日	○			
8・9月	餅飯殿町	弁財天祭り	7月6日、7日	○			
	餅飯殿町	理源大師法要	7月7日	○			
	鍋屋町	弁財天祭り（初宮神社）	7月6日、7日	○			
	北風呂町	厳島神社夏祭り	7月6日、7日	○			
10月	手貝町	弁財天祭礼（八鐵神社境内）	7月6日、7日	○			
	東向中町	弁天祭（東向弁財天）	7月7日	○			
	押上町	弁財天祭礼（八坂神社境内）	7月7日	○			
	川上西町	弁財天祭礼	7月7日	○			
6・7月	西城戸町	弁財天祭	7月7日		○		
	橋本町	お薬師さん	7月8日			○	
	中院町	薬師如来祭礼	7月12日	○			
	川上西町	祇園社祭礼	7月13日、14日	○			
8・9月	内侍原町	八嶋神社宵宮・本宮	7月14日、15日	○			
	十輪院町・毘沙門町	毘沙門天王祭	7月14日、15日	○			
	大森町南	地藏祭	7月22日	○			
	不空院	地藏盆	7月22日	○			
10月	地藏町	地藏盆	7月22日、23日	○			
	花芝町	十福地藏尊地藏盆	7月23日	○			
	餅飯殿町	地藏盆	7月23日	○			
	奥子守町	地藏盆	7月23日	○			
6・7月	寺町	地藏盆	7月23日	○			
	法蓮町南一丁目・法蓮町南二丁目	地藏盆	7月23日	○			
	中新屋町	地藏盆	7月23日	○			
	綿町・京終地方東側町・西側町	地藏盆	7月23日	○			
8・9月	北京終町	地藏盆	7月23日	○			
	中清水町	爪がき地藏尊地藏盆	7月23日	○			
	築地之内町	地藏盆（正覚寺境内）	7月23日	○			
	中通町	地藏盆	7月23日	○			
10月	紀寺東口町	早和良地藏尊地藏盆	7月23日	○			
	新屋敷町	地藏盆	7月23日	○			
	肘塚町	地藏まつり	7月23日	○			
	上清水町	子安地藏尊地藏盆	7月23日	○			
3月	下高畑町	柳地藏地藏盆	7月23日	○			
	興善院町	夕日地藏尊地藏盆	7月23日	○			
	傳香寺	地藏盆	7月23日	○			
	十輪院	地藏盆	7月23日	○			
4月	福智院	地藏盆	7月23日	○			
	念聲寺	地藏盆	7月23日	○			
	璉城寺	地藏盆	7月23日	○			
	西新屋町	地藏盆（庚申堂）	7月23日		○		
5月	南京終西町	地藏盆祭り	7月23日		○		
	押上町	地藏盆	7月23日		○		
	佐保川西町第1・第2	地藏盆	7月23日		○		
	南市町	地藏盆	7月23日、24日	○			
6月	御所馬場町	地藏盆	7月23日、24日	○			
	北半田中町	地藏盆	7月23日、24日	○			
	南城戸北方町・南城戸南方町・浄言寺町	地藏盆	7月23日、24日	○			
	瓦町	地藏盆（瓦町会所）	7月23日、24日	○			

月	自治会名	行事名	日時	変更がある場合は赤字で修正ください			
				参加 OK	町内の 人限定	非公開	掲載 しない
7月	八軒町	地藏盆	7月23日、24日	○			
	十三軒町	地藏盆・夏祭り	7月23日、24日	○			
	笠屋町	鑑地藏地藏盆	7月23日、24日	○			
	手貝町	しあわせ地藏尊地藏盆	7月23日、24日	○			
8月	奥竹町	地藏盆	7月23日、24日	○			
	橋本町	お地藏さん	7月24日			○	
	水門町	弁財天祭礼	7月第1土曜	○			
	東笹鉾町	弁財天祭	7月第1土曜・日曜	○			
9月	西木辻中町	夏祭り（聖天堂）	7月第2土曜、日曜	○			
	黒髪山	地藏盆	7月第3土曜	○			
	杉ヶ中町	若杉大明神神社の祭礼	7月第4日曜		○		
	般若寺町	地藏盆	7月23日前後の日曜	○			
10月	阿弥陀寺	地藏盆	7月23日の前の土曜か日曜				
	下幸町・上幸町	鉾枝口地藏尊地藏盆	7月23・24日に近い土曜	○			
	南袋町二丁目	夏祭り（地藏盆）	7月23日以降の土曜 （実施しない年もある）		○		
	元興寺町	地藏盆	7月23日前後の日曜か祝日		○		
11月	法蓮山添西町	地藏盆	7月下旬の土曜または日曜	○			
	今辻子町	夏祭り（住吉神社）	7月最終土曜、日曜	○			
	下三条町	夏祭り（月日神社）	7月最終日曜	○			
	三条池町	地藏盆	7月最終日曜	○			
12月	勝南院町	住吉神社夏祭り	7月31日	○			
	今御門町	率川地藏地藏盆	8月6日、7日	○			
	西城戸町	大日如来祭	8月18日		○		
	勝南院町	地藏盆（住吉神社境内）	8月23日	○			
1月	法蓮桜町	地藏盆	8月23日	○			
	元興寺	地藏会万燈供養	8月23日、24日	○			
	般若寺町	夏祭り（般若寺盆踊り）	8月第1土曜	○			
	中辻北方町	稲荷神社夏祭り	8月第1日曜		○		
2月	西新屋町	率川神社の祭事	9月1日		○		
	今御門町	道祖神社祭（猿田彦神社）	9月6日、7日	○			
	井上町	井上神社の祭り	9月14日、15日	○			
	元興寺町	白山神社祭事	敬老の日		○		
3月	中通町	秋祭り	9月末の土曜または日曜	○			
	肘塚町	櫛神社の祭	10月12日	○			
	鍋屋町	初宮神社秋大祭	10月16日、17日	○			
	南市町	南市恵比須神社秋祭	10月20日	○			
4月	中辻北方町	稲荷神社お火焚き	12月第1日曜		○		
	高天市東町・高天市西町	稲荷神社お火炊き祭 （高天市恵比須神社境内）	12月8日	○			
	鍋屋町	初宮詣（初宮神社）	12月17日	○			
	高天市東町・高天市西町	高天市恵比須神社本宮	1月4日、1月5日	○			
5月	南市町	南市恵比須神社の初戎（5日戎）	1月4日、1月5日	○			
	南魚屋北町・南魚屋中町・南魚屋南町	富久神社の初戎	1月4日、1月5日	○			
	今御門町	涅槃会	2月15日			○	
	築地之内町	涅槃会	2月の日曜 （町内会総会の日）		○		
6月	下三条町	観音講	3月17日			○	
	下清水町	涅槃会	3月の日曜			○	
	西木辻中町	聖天堂の月祭り	毎月16日（3月・7月を除く）	○			
	井上町	観音講	毎月17日	○			
7月	瓦町	地藏講	毎月23日	○			
	西新屋町	地藏講	毎月23日			○	
	中新屋町	庚申講	庚申の日			○	

上記のほか、神社のお祭り（御霊神社秋季例大祭、奈良豆比古神社秋祭り、飛鳥神社秋祭り、采女神社采女祭、氷室神社例祭、手向け山八幡宮転害会、狭間神社秋の大祭、鏡神社例祭、漢國神社例大祭、蛭子神社蛭子祭、率川神社三枝祭、八坂神社祇園祭、崇道天皇社夏祭、天神社夏祭りは記載予定です。）

追加で掲載を希望する行事					
関係する自治会	行事名	行事日	参加 OK	町内の 人限定	非公開

■アンケート結果

問 1) 所属する自治会で伝統行事を主催、または、地域の伝統行事に参加など何らかの形で伝統行事に参加していますか。

- 1、はい 156
2、いいえ 49
(回答数 205、無回答 0)

問 2) 地域の伝統行事を残していきたいと思えますか。(問 1 で「地域の伝統行事に参加している」と答えた人のみ回答)

- 1、思う 137
2、思わない 0
3、どちらともいえない 19
(回答数 156、無回答 0)

残していきたい	(90 意見／137 回答者中)
地域活性化・地域の親睦と交流	32
地域固有の伝統・アイデンティティ	12
子どものため	6
歴史・文化の継承	25
責務・使命・当たり前のこと	11
変化の容認	3
その他	1
どちらともいえない	(13 意見／19 回答者中)
少子高齢化による参加者・担い手不足	7
その他	6

自由記述式回答の種別と回答数

回答のあった 205 自治会のうち、76%にあたる 156 自治会が、何らかの形で伝統行事に参加しており、そのうちの 88%にあたる 137 自治会が、現在、自治会で行っている伝統行事を残していきたいと思っていることがわかった。自由記述欄に記載のあった中で最も多かった理由は、「地域活性化・地域の親睦と交流」で、次いで「歴史・文化の継承」である。「地域固有の伝統・アイデンティティ」と答えた意見の中には、歴史・文化の継承を意図するものもあれば、地域社会の形成を意図するものもみられた。また、「責務・使命・当たり前のこと」の意見の中には、伝統行事であるからといった理由が多く、「歴史・文化の継承」の一種だと考えられるが、特に使命感を感じているといった

意見のものを特筆している。以上のことから、地域の伝統行事を残していきたいと思っている理由の多くが、「地域活性化・地域の親睦と交流」「歴史・文化の継承」に大別されと考えられる。

なお、残していきたいと回答している意見の中には、残し方として、今のままの形で残すのではなく、社会変化や現状に合わせて取捨選択するなどの変化を容認しながら残していきたい、もしくは、変化することも必要だという考えが 3 意見あった。必ずしも現状のままを残していきたいと思っているわけではないようだ。

問 3) 地域の伝統行事を継承するために課題を抱えていますか。(問 1 で「地域の伝統行事に参加している」と答えた人のみ回答)

- 1、はい 129
2、いいえ 25
(回答数 154、無回答 2)

継承するための課題	(161 意見／154 回答者中)
少子高齢化による参加者・担い手の減少	100
関心の薄れ	17
参加者の偏り	6
コミュニケーション不足・世代間交流	5
時間的余裕のなさ	5
信仰の問題	1
負担の増加	6
資金不足	10
伝統行事の意義の喪失	3
モチベーションの低下	1
変化の容認	1
周知不足	2
その他	4

自由記述の種別と回答数

問 4) 伝統行事を継承するために工夫していることはありますか。(問 1 で「地域の伝統行事に参加している」と答えた人のみ回答)

- 1、ある 78
2、ない 72
(回答数 150、無回答 6)

継承するための工夫	(87 意見／78 回答者中)
参加対象に関する工夫	8
町内以外への声掛け 4、全員参加 4	
周知・呼びかけ方法に関する工夫	18
事前告知 1、のぼり 1、回覧 7、 文書配布 2、声掛け 5、SNS 等 2	
理解向上のための工夫	15
継続して実施 5、行事について伝える 8 会議を開催して伝える 2	
コミュニケーションに関する工夫	5
意見を聞く 1、対話する 2、親睦会 2	
内容の充実	9
子どものための企画 6、福引 3	
運営に関する工夫	24
マニュアル作成 3、機器設備の更新 3 簡略化・規模縮小 8、担い手 9、経費 1	
その他	8
ほかの自治会に教えを乞う、など	

自由記述の種別と回答数

問 5) 他の町で取り組まれている工夫について参考にしたいですか。(問 1 で「地域の伝統行事に参加している」と答えた人のみ回答)

- 1、したい 100
2、したくない 41
(回答数 141、無回答 15)

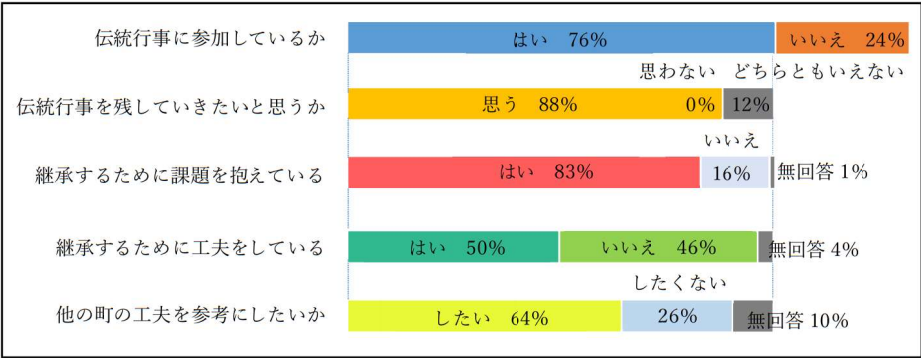
伝統行事に参加している 156 自治会のうち、88%にあたる 139 自治会において、継承するために課題を抱えていると回答しており、具体的な課題としては「少子高齢化による参加者・担い手の減少」が圧倒的に多い。また、参加者が少ない要因として、伝統行事に対する「関心の薄れ」が挙げられ、特に新たに地域に住みだした人、若年層の関心の低さを課題だと認識している様子が窺えた。なお、少子高齢化、関心の薄れに関連して、参加者に偏りがあることを課題だと認識しているところもあった。また、「コミュニケーション不足、世代間交流の困難さ」「時間的余裕のなさ」といった課題が挙げられているが、これら

は、それぞれ「関心の薄れ」と「参加者の偏り」の要因でもある。さらに、参加者が減少していることから、役員といった運営側の「負担の増加」、参加者からの寄付や賽銭の減少や負担割合の増加による不満を生み「資金不足」が生じている。加えて、参加者の減少に伴って、伝統行事が本来持つ意味や由来、やり方を知っている人が少なくなり、行事を行っていてもやり方が正しいのかわからないといったような「伝統行事が形骸化している」と感じている回答もみられた。このような状況から、「参加者のモチベーションが低下して、祭りの回数を減らしたい、減らさざるを得ないといった雰囲気がある」と答える自治会や「ネガティブなイメージを払拭するのが大変である」と答える自治会もあった。以上のことから、少子高齢化による参加者の減少、担い手不足という根本的な課題が、その他の様々な課題を誘発し、複雑に関連し合っている様子が窺えた。

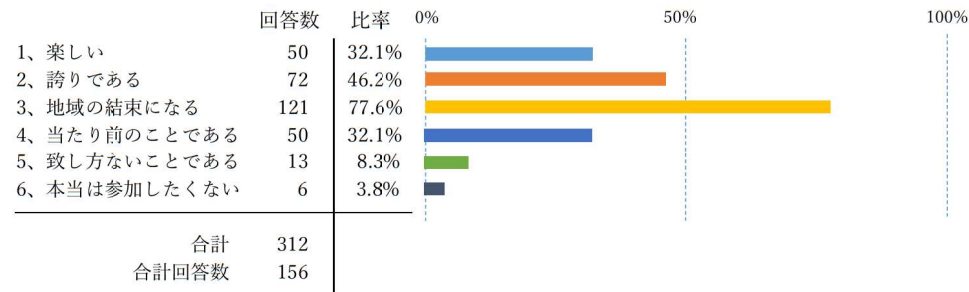
これらの課題を少しでも解消するために、何らかの取り組みを行いたいと思っている自治会もあるが、伝統行事をどこまで変容させていいのか、新住民や若い世代へどのように周知したらいいのかといった、課題を解消するための課題を抱えている自治会もあった。

課題を抱えているかどうかに関わらず、課題解決のために何らかの工夫を行っているかどうかという問に対して、約半数の自治会が工夫を行っていることが分かった。工夫の内容としては、「参加対象の拡大」「周知方法」「理解向上」「コミュニケーションを図る」「内容を充実させる」、負担軽減のために「マニュアルを作成する」といった行事を維持させるための工夫を行っているところが 70 件あり、中には維持させるための「参加対象者の拡大」、「新企画の実施」、「行事の合同化」といった変化もみられた。一方で簡略化、規模縮小といった行事を縮小する工夫を行っているところも 8 件と意外と少ない。

伝統行事に参加している 156 自治会のうち、64%にあたる 100 自治会が他の自治会での取り組みを参考にしたいと考えており、中には自治体に集会の呼びかけを希望する自治会もみられた。



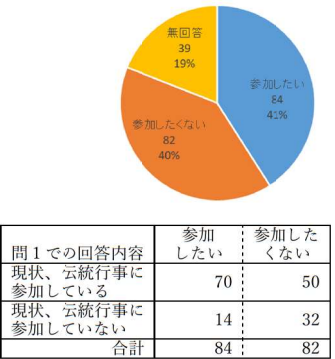
問 6) 伝統行事に参加することについてどう思いますか。(複数回答可、問 1 で「地域の伝統行事に参加している」と答えた人のみ回答)



問 7) 個人的に伝統行事に参加する機会があれば、参加したいですか。参加してみたい行事があれば教えてください。

1、したい 84
2、したくない 82
(回答数 166、無回答 39)

参加してみたい理由は、自分の町の行事の「参考にしたい」という理由や、「歴史文化を知りたい、継承したい」、「地域との関係を深めたい」など多様な理由があった。参加したくない理由については、「自身の地域の行事があるから」、「身体的な理由」が挙げられた。なお無回答の中には、現在は諸事情により難しいが、事情が変われば参加したいとのコメントもみられた。



自由記述式回答

①- 1 地域の伝統行事を残していきたいと思う理由 (問 2)

地域活性化・地域の親睦と交流 (32)

- ・地域社会、町の活性化、親睦と交流 (11)
- ・地域の関係性が希薄になった現代、伝統行事を開催することによって、コミュニケーションを取ることができ、交流が広がり親睦が深くなる
- ・町内会が南北に細長く、4 組に分けてあるので、組同士は交流があるが、ほかの組とはほぼ交流がなく、神社で総会 (年 1 回) を実施し、交流会としている
- ・異世代住民の交流および自治会活動への認識を高めるうえで有効
- ・住民相互の親睦と連帯感を高め、住みよいまちづくりを目指している
- ・地域の絆を保持、町内の結束、団結のために必要 (7)
- ・他にこれといった行事がなく住民が一堂に会する機会がない (2)
- ・町内の方々が年齢関係なくふれあえる機会なので (2)
- ・町内の人たちが協力し合える数少ない機会であるし、諸々が簡略化していく昨今、若い世代に知ってもらい、つなげていく文化だと思う
- ・次の世代に引き継ぎ、町内で今までやっていた行事を理解してもらい、町の発展に貢献できれば良いと思う
- ・住民と地域とを結びつける手掛かりとなる。暮らしと季節や行事と関わりができる。人と人とを結ぶ大切な行事
- ・古来より継承されている氏神さんの祭りに参加することで、地域とつながった社会を実感、地に足が付いた生活を過ごすことができる
- ・神社は、まちの中心、生活の場面、場面で大事な役割を担っており、生活スタイルが時代とともに変化していく現在にあっても人間の営みの原型を思い起こす、大切なトボスとしての役割はずっと続く
- ・少ない町内なので何としても残したい

地域固有の伝統・アイデンティティ (12)

- ・その地域に昔からある伝統行事であるから
- ・国際観光都市の中でも歴史の厚い「ならまち」界隈に数多く現存する地蔵尊の祭典は、現状以上に盛り上がるように継続すべき行事
- ・規模の大小にかかわらず、町内の地蔵尊を祀っていくことは継続したい
- ・地域の人間のアイデンティティの形成にかかわることだから
- ・町内所有の涅槃軸を祭り、涅槃講を復活し伝えていくことが必要
- ・その町のよき伝統は残すべき
- ・地域の歴史や伝統を知り、地域の成り立ちそのものを現代の住民たちが認識するため
- ・地域としての歴史と人のつながりがあるから、継承しなければならない
- ・行事をすることによって、伝統を継承し地域の歴史を知ることができる。知ることにより、地域に関心を持ち大切にする気持ちが生まれると思
- ・奈良の歴史は奥深く、全国に影響を及ぼす。地域の伝統行事はそんな歴史を由来としており、古今東

- ・西の伝統行事を存続させるためにも、極めて重要
- ・やはり奈良の中心地、できる限り、残していくことが必要
- ・地域の歴史と伝統を感じる機会

子どものため（6）

- ・年少の頃から祭りに参加していたことを記憶にあることは素晴らしいこと
- ・子どもたちが喜んで参加できる
- ・地域で協力する姿を子どもに引き継ぐため
- ・子供たちへの伝統行事への参加を通じて、日本の社会様式の一つのあり方を見せるいい機会
- ・子どもたちに伝承したい
- ・近所の子どもたちが来て、にぎわっているの、残していきたい

歴史・文化の継承（25）

- ・伝統行事が一度消滅すれば復活が難しく困難である（4）
- ・文化を次世代に残したい（3）
- ・我々住民の先人たちが残してくれた伝統行事を継承し、後に伝えていくことが必要（6）
- ・毎年4回祭礼が半世紀以上続いており、今後も大切にしていきたい
- ・安永元年（1772）の伝統行事、自治会で子々孫々まで伝える行事だと思っている
- ・佐保川の奈良市内の桜をいつまでも維持管理して、見物人の心を癒していきたい
- ・12-13世紀に造立され江戸時代に修復されている極彩色の立派な地藏菩薩立像をお祀りしており、今後も地藏盆という形でお祀りしていきたい
- ・弁財天祭も大日如来祭もそれぞれ江戸時代から300年近く続いている行事であること
- ・歴史と文化のある町なので残していきたい
- ・町内にある神社は、小さな神社だが、長い歴史の割には、見捨てられたような存在。「隠れたところ」にスポットを当てることで、伝統行事のすたれを防止
- ・自治会の行事として残していきたいが、由緒ある稲荷神社なので祭祀として守っていこうと思う
- ・年間15回ほどの行事を中心に文化の伝承としても地域で大切に保存継承していかなければならない
- ・地藏尊に「よだれ掛け」を掛け、子どもの成長、家内安全を願う行事は大切に残していきたい
- ・近代化すると一層古事を大切に
- ・以前と同じようにしていきたいと思う

責務・使命・当たり前のこと（11）

- ・明治初めより祭りの記録が残っており、自治会が今後も将来にわたって維持継承すべき使命を有している
- ・この代で断絶させるわけにはいかない
- ・先人の残していった思いを後世に伝えていくその責務があると思う
- ・江戸時代以前より、継承されている文化財の仏像（国立博物館に預けている）もあり、代々祭っていく必要、義務があり、若手に引き継いでいきたい
- ・奈良の町衆の伝統を後世に伝えるため住人の義務と思う（奈良は社寺と町が一体）
- ・伝統行事のため後世に伝えていくべき（3）
- ・神事にまつわる伝統行事は未永く残すべき

- ・残すのが当然である
- ・残すとか、残さないとかではなく、行っていくもの

変化の容認（3）

- ・全ての行事を残すとは思わないが、伝統行事といえども時代とともに変化していくもので、変化を受け入れる姿勢も必要
- ・良いものは残し、悪いものは捨てる（改善）と考えているから
- ・昔から伝承されてきた行事には何らかの理由がある。その理由が、現在、適切か否かという問題があっても、当時の考え方や風習を今と照らし合わせてみて、改善すべきところは改善し、残すべきところは残し、対応して、我々の今後に関与

その他

- ・人々の暮らしは昔より良くなっているのか、これからどうしたらより良い暮らしになるのか、静かに考え、振り返る機会

①-2 地域の伝統行事を「残していきたいか、残していきたいと思わないか」のどちらともいえない理由（問2）

少子高齢化による参加者の減少・担い手不足（7）

- ・高齢化により年々行事を継続するのが難しくなっている
- ・少子高齢化で平均年齢が高く、年配者ばかりで難しい
- ・子どもさんが少なくなっている
- ・伝統行事を継ぐ人が少なくなっている。おじいちゃん、おばあちゃんが町内に住みなれているから残り、家族は別にマンション等に住むことで地域から離れている為、いずれすたれていくように感じる
- ・ほとんどの会員が興味を持たない。世話をする人が老人ばかりで、会長が一人でやっているようなもの
- ・高齢化で活動できる人も限られ、若い人は仕事を持ちながらなので時間的にも無理がある
- ・町内の子どもが数人であり、町の高齢化もあり真夏に会員が外で待機するようなことはやめる方向に進んでいる

その他（6）

- ・固執する必要はない
- ・形だけのものになっているものもあり、その主旨を理解し柔軟に変更していく必要があると思う
- ・それぞれの伝統行事によって異なる
- ・参加者意思を保つことの難しさ
- ・開催日（曜日）により、主催者側の人数も振るいにくい。また、お客様の人も出まばらになる。
- ・いろいろな考え方の人がいる

②地域の伝統行事を継承するために抱えている課題（問3）

少子高齢化による参加者・担い手の減少（100）

主な意見

- ・毎年地蔵盆をしているが、主体はお寺が企画され設営されている。当自治会は補助で清掃と提灯付けだけだが、高齢者の上、参加できる人がいない。人的な要因が全てである
- ・後継者難、自治会長をすれば年1回といえども、暑い中で地蔵尊祭典をしなければならない。会員一同も似たり寄ったりで、それがなければよいとのムードが強く漂う（近隣町で地蔵盆がないところがあるので）
- ・氏子の高齢化も進み、新たな「行事のあり方」を進めようにも後継の若い世代に引き継ぎがうまくいっていない
- ・秋祭り子どもたちの参加も年々少なくなっており、伝えていく子どもたちはもちろん、親も少なくなっており、あらゆる意味において人口減少は根本の課題
- ・伝統行事を継承する担い手である若年層住民が少なく、その後の年少者数も地域にとどまるかが不明で、将来が見通せない
- ・地域住民の年齢が高くなり、その子どもたちはこの地を離れ、東京、大阪などの地で職業をもち、所帯をもち、正月、盆などは帰省してもごく限られた期間のみ
- ・子どもが少なく、お稚児さん行列の参加が危ぶまれる
- ・老人が多くなり、下働きに必要な力仕事ができるものも減っている
- ・高齢化が進み、また、若い人たちが地域を離れていっているため、毎年規模を縮小している

関心の薄れ（17）

主な意見

- ・参加者が少ないため、どのようにして関心を持ってもらえて、参加者を増やすのが課題
- ・氏子の代表と地域自治会との関係が密なところと、そうでないところの差が大きく、全体としての力になっていないことがネック
- ・家族で地域の伝統行事に出かけることが少なくなって、近所同士のむずび付きや会話が減り一緒に出掛けるような機会が減っている
- ・今後の継承のため町内の関心を高める方策
- ・近隣から苦情が出るため開催場所が少ない
- ・地蔵祭りに全く関心を示さない人もいる（特に他地域からの移住者）
- ・神事に対する関心が低く、神前にお参りする方も年々減少してきている
- ・新たにマンションや居住してきた人たちは、歴史や慣習に関心がない
- ・参加意識が徐々に希薄になってきている
- ・関心が薄い。小中学校での教え方を工夫し、奈良に住むとはどういうことなのかを考えさせてほしい
- ・若い人は関心がない

参加者の偏り（6）

主な意見

- ・旧町内の人参加してくれるがマンション等の参加が少ない。その都度案内参加表を配っているが、
- ・若年層の参加が減少傾向にある

- ・40歳代以下の比較的若いご家庭の方々にとって、魅力的な内容になっていない（魅力的な内容だと思われていない）
- ・どうしても限られた住民だけの行事になってくるので、他住民とも交流が取れるようにしたい

コミュニケーション不足、世代間交流の困難さ（5）

主な意見

- ・現在の参加者が高齢化する一方で、若い自治会員において講への考えについて認識のずれがあるように思う。自治会員としての誇りともいえるが、年齢の差を越えてコミュニケーションを取り合うことへの不慣れが原因か、新規に講員を募集しても参加者が少ない
- ・他地域より入られた方々でもあり、年齢のギャップは否めない、徐々に地域になじんでこられているように思うので、うまく継承していければと思う
- ・近所付き合いの減少
- ・自己の考え方や主張を重視するあまりに他人の意見や考え方に同調することができず、すべての伝統行事を否定し、尻理屈を重ね、おのれの正当性を述べるのが人権であると考える人が多くなっている

時間的余裕のなさ（5）

主な意見

- ・仕事等で忙しいからか、若い人の参加が少なくなっている
- ・新しく入居してきた方々は共働きで行事を行いたくても集められない
- ・継ぐ人たちも昔のような商売をしながら、というわけにもいかず、行事を行うこと、文化として継承することすべてが課題
- ・40歳代から70歳代は年金の関係等で働いており、お手伝いをお願いできない

信仰の問題（1）

- ・宗教上の理由により、民間信仰にご理解をいただけないケースがある

負担の増加（6）

主な意見

- ・合同で地蔵祭をしているが、各町会とも役員に負担がかかりすぎる
- ・町内会の衰退（住民減少）により維持管理が難しい
- ・内容の充実化が図れない
- ・魅力的な企画にしようとするパワーがないように感じる

資金不足（10）

主な意見

- ・人数が少ないため、寄付などの財源が乏しい

- ・祭り予算も過去の預金のとりくずで賄っており、後 10 年ももたない
- ・本祀りに来る人の減少に伴い、賽銭等も減少し、経済的にも以前同様の開催が厳しくなっている
- ・伝統行事を行う上の費用の問題
- ・負担金抛出に不平不満が続出してきている
- ・周辺 4 自治会のボランティアで維持管理しているため、管理費の賄いに苦労している

伝統行事の意義の喪失 (3)

- ・伝統行事の内容を詳しく知る先輩の方々が少なくなっている
- ・社寺にお金を抛出するだけの希薄な関係になっていて、コミュニケーションがない
- ・伝統的な行事としてやり方がわからない、開催したが人が集まらず、何をしていいかわからず。形だけでよくわからないため、人を集めるための何がいいのかかも不明

モチベーションの低下 (1)

- ・参加される人数が少なくなり、年 3 回の祭りごとが 2~1 回に思うこともある

変化の容認 (1)

- ・今の時代にアレンジしても良いのか、など。古い様式をどこまで維持すればよいのか

周知不足 (2)

- ・地域へは簡単に案内できるが、一般の方への周知が今のところ町内に立てる「のぼり」のみ。ほかにもう少し拡大した広報をしたいが、あまり費用はかけられない
- ・近隣にもアピールして、多数の方々の参加が望ましい

その他 (4)

- ・他所の文化を教えてほしいと思う
- ・見物人が桜の木に登ったり、木の枝を折る行為に困っている
- ・施設の老朽化
- ・狭い道路に面していて、地藏尊の前でゆっくり地藏盆を行うことができない

③地域の伝統行事を継承するための工夫 (問 4)

参加対象に関する工夫 (8)

- ・周辺地域へ告知する
- ・町内の保育所に声掛けする
- ・住民だけでなく、里帰りの孫、マンション住民、近隣の子どもたちにも参加してもらおう (2)
- ・なるべく町内全員が参加する、または、全員が参加するように役割分担をする (4)

周知・呼びかけ方法に関する工夫 (18)

- 事前告知
- ・事前に開催案内を行う

のぼり旗

- ・町内にのぼり旗を立てる

回覧

- ・回覧で案内を行う (6)
- ・地藏盆の「よだれ掛け」を回覧で募集する

文書配布

- ・回覧だけでなく、印刷して配布する (2)

声掛け

- ・各戸に声掛けする (3)
- ・声掛けをしてみんなで行くようにしている
- ・若手の自治会員には声掛けをする

S N S 等

- ・地藏盆を S N S を用いて広報 (日本語だけでなく英語でも)
- ・Facebook 等を利用して伝える

理解向上のための工夫 (15)

継続して実施する

- ・毎年どんなときでも継続することで、地域住民やそれ以外の人にも理解を促す (5)

行事について伝える

- ・史料保存館の人に来てもらって講座を開催する
- ・行事の歴史を調べて資料を作り配布する (3)
- ・地域の社寺取材して、行事に対する協力をお願いする
- ・子どもや若年層の夫婦に参加を勧める際に、参加する意義を伝える
- ・若年層に教育する
- ・体験参加を呼び掛ける

会議を開催して伝える

- ・総会や会合を開き、みんなに伝える
- ・会議の場所を神社で行い、関係を深める

コミュニケーションに関する工夫（5）

- ・年配の方には声をかけて、40代の方にはいろんな意見を聞く
- ・地藏尊ではテントを張り、お供え物や福引の景品を買いに若い方の車で同乗してゆったりしながら対話をしている
- ・子どもとのふれあいで毎週交流している
- ・行事後の直会をコミュニケーションの場を利用
- ・行事の後、親睦を兼ねてピャガーデンを開催

内容の充実（9）

子どものための企画を考える

- ・できるだけ多くの子どもが参加できるよう、子どもが喜ぶ催し（金魚すくい、お菓子配布）を行う（4）
- ・地藏さんラリーとして、各地蔵尊を巡ってスタンプを集め、抽選で子どもたちに好きなものを選んでもらうようにしている
- ・「よだれ掛け」の募集を回覧板で行い、地藏盆の際に持ってきてくれた子どもにお菓子を配る

たくさんの人に集まってもらえるような企画を考える

- ・福引や抽選会を行う（3）

運営に関する工夫（24）

マニュアル作成

- ・誰でもわかるようなマニュアル（詳細な説明資料）を作り、初めてでも行事ができるようにする（2）
- ・合理化を図るべく、①祭典用具の整理とともに、改良改善を実施、②用具一覧表（台帳）を作成、③祭典提灯飾り付け作業の手順書を図入りで作成している

機器・設備の更新

- ・行事に使用する備品（テントや提灯）の最新化
- ・祭典用具の統一
- ・お堂に入るのに階段もないので、高齢者のために役員が手作りした

簡略化、規模縮小

- ・簡素化する（5）
- ・神輿を車で運搬する
- ・開催期間を2日から1日に変更する
- ・規模を小さくする

担い手

- ・近隣自治会と合同で行事を実施する（4）
- ・持ち回りで担当する（2）

・有志で実施する

- ・テント設営を手伝ってくれる人がいないためアルバイトを雇ったことがある
- ・参加者の負担軽減を図る

経費

- ・維持費負担の軽減

その他

- ・参画しやすい環境づくり
- ・小規模ながら、各家ガレージ等で分散して行っている
- ・毎年役員が変わるが、それぞれが工夫して変化しながら続けている
- ・講員19名が協力して運営している
- ・自治連合会への参加
- ・町内の夏祭り、月嘗祭り、歳旦祭等、誰かしら参拝されること（ほぼ全員）。神社の清掃等で常に関わっている。
- ・他の自治会へ教えを乞いに行くなどしている
- ・どうしたらよいかわからない、行政主導でやってくれとは言わないが、ほかのみんながどうしているのかも知らない

④個人的に伝統行事に参加する機会があれば参加したいか (問7)

参加したい理由や行事

理由

改善の参考にした (5)

- ・参考にできることは取り入れていきたい
- ・伝統行事の成り立ちと運営方法を知りたい
- ・他の自治会の神社に関する行事内容と収支を知りたい
- ・当町の祭典改善点等の状況把握をしたいため。なお、貴課主催の地藏盆限定での会合(関係町含めて)を望みます
- ・他の町ので蔵祭など、わが町の伝統行事の参考になるかもしれない

歴史・文化の理解、継承 (4)

- ・生活の中の節句になる
- ・古くからの歴史・文化が伝わり、現在の奈良を形作っているものであり、現在の奈良に生きるものとして、これらを知ることは歴史・文化を深く理解し、次の世代に伝えていかなければならないと考えるため
- ・いろいろな行事を体験し、多くの方に伝えたい
- ・子どもたちに伝承したい

地域のことを知りたい、地域との関係を深めたい (4)

- ・こちらに引っ越してきて間もないので、地域のことを知りたいから
- ・自治会のつながりもでき、地域の歴史にも触れられるかと思う
- ・文化交流できれば、ほかの人と触れ合うことが良いと思う。町内清掃及びみんなと一緒に楽しくやることが長く続けられるように思う
- ・いつ起こるかわからない災害等により、個人ではなく、他人や地域の力が必要となるとき、少しでも自分の活動範囲を広げ近隣との関わりを深めたい。
- ・未だに知らないことが多いので勉強したい

手助けしたい (1)

- ・今後、少子化、人口減での後継者不足対策の手助けをしていきたいと思っています。

見学したい (2)

- ・まずは行事を見学(見物)に行きたい
- ・見学するのが楽しみです

機会があれば (2)

- ・機会があればとは思っているが、現在のところは観賞ですませている
- ・時間が合えば参加してみたい

参加したい気持ちはあるが、参加しづらい現状がある (5)

- ・「参加したい」けど煩わしい「役」を仰せつかるのはちょっと、というはなはだ勝手な気持ちもある
- ・個人的には参加したいと思う。以前は御霊神社の秋祭りの御渡式に参加していたが年とともに身体の負担を考えれば、なかなか行事に参加しづらいのが現状。
- ・大きい数珠が町内の家で保管されていることが判明。地藏堂で「数珠繰り」を復活させたいがリーダー

ーがない。

- ・個人的事情で今のところは不可能だが、参加してみたい
- ・まだサラリーマンで、遠方通勤しているので余裕がない。退職後、参加したいと思う
- ・奈良の街に住んでいる限り、伝統行事に参加できる機会があれば参加したいと思うが、仕事等で忙しいので、なかなか参加することができない

その他 (5)

- ・いろいろと経験はしてみたい
- ・自分が幼少期に参加した行事は、やはり懐かしく楽しい思い出の一つになっています。子や孫と一緒に、それらの行事に参加できること、話題にできることが、今は楽しみになっている
- ・当自治会には、地藏様がなく、昔よりほかの自治会ので蔵盆に参加させてもらっている。今後も今まで通り、参加していきたい。
- ・毎年、企画し実行している
- ・おん祭りに参加している

参加してみたい行事

なんでも (1)

- ・何でも参加したい

地域や近隣の行事 (4)

- ・近隣の地域の行事
- ・今御門町の道祖神社祭にはお手伝いしたい
- ・地域の祭り、行事、公民館のイベント
- ・小さな地元のお祭りでも参加したい

子どもが楽しめる行事 (2)

- ・この行事というものは特にないが、子どもも参加して楽しめる夏祭り
- ・天神社夏祭り、子供が楽しめるから

神社のお祭り (8)

- ・神事、神社の祭 (2)
- ・春日若宮おん祭 (3)
- ・漢國神社例大祭
- ・氷室神社例大祭
- ・昨年、御霊神社の秋のお祭りに自治会長として参加し、御渡りの行列に加わった。初めての経験だったが、神事に関わってよかった。例年、お祀りやくじ引きにはいつている。地域にお寺や神社があって、お参りなどができるのがありがたい。

地藏盆 (6)

- ・地藏盆 (4)
- ・盆踊り
- ・数年前の新薬師寺の地藏盆はとても良かった。ボランティアで屋台などをしてもらえなくなったとのことで、とても残念に思う。金魚すくい、スーパーボール、綿菓子、たこせん等々、とても盛り上がっていた。

その他（6）

- ・たくさん参加しているため
- ・新住民を巻き込まなければだめ。まだまだ知らないことがあるに違いない。裏面の一覧は、とても面白い。知らないことばかり。もっと広報してほしい。
- ・東城戸町で過去、落語会やジャズを聴く会などを実施しており、気軽に参加できる行事に参加したい
- ・質の良い行事には参加したい
- ・佐保川・川路桜祭り（2）
- ・秋祭り、夏祭り、花見など

- ・「参加する」が単なる観光でないなら伝統行事はそれまで行ってきた地域の人々で行うのが良い
- ・見学することの楽しみがある
- ・できない
- ・今のところはしたくない
- ・現在は特に

参加したくない理由

自身の地域の行事があるから（5）

- ・村の行事優先にしたい
- ・地域の伝統行事を全うしたい
- ・現在の当自治会の行事を将来に維持していくことで精いっぱい
- ・今は自治会での行事等で精いっぱいのため
- ・現状の行事を継続することに専念する

時間的理由（4）

- ・仕事が忙しい
- ・多忙のため
- ・伝統行事以外のイベントに多数参加しており手が回らないのが実情
- ・時間的余裕

身体的理由（6）

- ・自身の身体的な問題で重労働ができないため、事務などであれば時間が許せば協力可能
- ・自身の健康上の問題のため（2）
- ・体力的に難がある
- ・コロナ感染症のことを思うと、落ち着くまでは高齢者であるので、用心のため、行事参加はしたくない
- ・既に高齢であり、体力的に無理。地域も高齢者が多い。

環境的理由（1）

- ・交通の便が悪い。車で参加になるため。

現状で十分（2）

- ・人のつながりでほかの町などの行事にも参加する機会があるので、個人的にはこれ以上は必要ないかと考えている
- ・新たな行事には参加しようと思わない

その他（8）

- ・子育て中は地藏盆などに参加していたが、今は子どもも独立したため
- ・地域の伝統行事が大切に守り継がれて身近に感じられるのは、歴史のある古い町奈良ならではの良さ。直接参加はできずとも、違った形であれど応援していきたいと思います。
- ・地区より小さい町等の行事なので、見知らぬ人が出入りするとセキュリティ的にもリスクが増えそう。

地域の伝統行事&お祭りBOOK「奈良町」Vol.3 個人向けアンケート結果

アンケート概要

調査手法：無記名による選択式及び自由記述式のアンケートをインターネット、メールで配信

調査対象：奈良町に来訪経験のある人

調査期間：アンケート配布期間 令和2年11月11日（水）から

アンケート回収期間 令和2年12月14日（月）まで

配布方法：インターネット・SNSで配信

回収方法：オンライン回答（一部手渡し）

有効回答数：62件（無効数1件）

くらし・手続き	市民活動・文化・スポーツ	子育て・教育	福祉・医療・保健・健康	産業・しごと・事業者向け	奈良市の魅力	市政情報
---------	--------------	--------	-------------	--------------	--------	------

現在地 [トップページ](#) > 地域の伝統行事&お祭りBOOK「奈良町」アンケート(個人向け)

地域の伝統行事&お祭りBOOK「奈良町」アンケート(個人向け)

奈良市では、平成30年度、令和元年度に地域の伝統行事を紹介する事業として『地域の伝統行事&お祭りBOOK「奈良町」』Vol.1（神社のお祭り）、Vol.2（地蔵盆）を作成しました。当事業の最終年度にあたる今年度は、皆様にご協力いただくアンケートの結果を踏まえ冊子を作成する予定です、つきましては、奈良町(ならまち、きたまち、京終エリア)に興味を持ってくださっている方にも当アンケートにご協力くださるようお願いいたします。なお、アンケートの内容については、個人が特定できない形で冊子に掲載することがありますので、あらかじめご了承ください。
※アンケートフォームは、ブラウザのクッキー(Cookie)を利用しています。（Cookie対応のブラウザでないとは動作しません）お問い合わせフォームを開いてから6分を超えた場合、内容の送信ができなくなりますので、もし送信までに時間がかかる際には、事前にメモ帳やワードなどで文章を作成してから問合せフォームに貼り付けてください。

Q1：年代（必須）

- ☐ 10代
☐ 20代
☐ 30代
☐ 40代
☐ 50代
☐ 60代
☐ 70代
☐ 80代以上

Q2：性別（必須）

☐ 男性 ☐ 女性 ☐ 回答しない

Q3：奈良町への訪問回数（必須）

奈良町は、奈良市の旧市街地である「ならまち」「きたまち」「京終」エリアのいずれかに来訪した回数を1回とカウントしてください。

- ☐ 1回
☐ 2～3回
☐ 5回程度
☐ 10回程度
☐ 10回以上
☐ 住民
☐ 職場がある

Q4：あなたは、何らかの形で奈良町の伝統行事に参加、または、お手伝いをしたことがありますか。（必須）

☐ はい ☐ いいえ

Q5：Q4で「はい」と答えた方にお聞きします。あなたが参加した、または、お手伝いした奈良町の伝統行事の名前とお手伝い(参加)の内容を教えてください。

複数ある場合は、全てご回答ください。

Q6：Q4で「はい」と答えた方にお聞きします。あなたが奈良町の伝統行事に参加した、または、お手伝いした理由やきっかけは何ですか。

Q7：Q4で「はい」と答えた方にお聞きします。あなたが奈良町の伝統行事の参加する、または、お手伝いすることについてどう思いますか。

(複数回答可)

- ☐ 楽しい ☐ 誇りである ☐ 意義がある
☐ 致し方ないことである ☐ 本当は参加したくない ☐ その他

Q8：その他と答えた方は、内容をこちらに記入ください。

Q9：Q4で「いいえ」とお答えした方にお聞きします。あなたが奈良町の伝統行事に参加、または、お手伝いしていない理由は何ですか。

(複数回答可)

- ☐ 興味がない ☐ 参加したいが体力に不安がある ☐ 参加したいが時間がない
☐ 参加したいがどうやって参加できるのかわからない ☐ 参加できるものだと思っていない ☐ その他

Q10：その他と答えた方は、内容をこちらに記入ください。

Q11：Q4で「いいえ」とお答えした方にお聞きします。今後、奈良町の伝統行事に参加する、お
ける機会があれば参加したい(手伝いたい)ですか。

☐はい ☐いいえ

Q12：Q11の理由を教えてください

確認する

奈良市役所

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1-1

市役所コールセンター (電話)：0742-36-4894 Fax：0742-36-3552

コールセンターのご利用時間：年中無休（平日／8時30分から18時まで 平日以外／9時から17時まで）

開庁時間：月曜日から金曜日 8時30分から17時15分まで

- › 個人情報の取り扱いにつ
- › リンク・免責事項
- › 市庁舎へのアクセス
- › 市庁舎フロア案内
- › お問い合わせ

Copyright © Nara city. All Rights Reserved.

地域の伝統行事＆お祭りBOOK「奈良町」Vol.3

個人向けアンケート



インターネットでも
回答できます！

奈良市では、平成30年度、令和元年度に地域の伝統行事を紹介する事業として『地域の伝統行事＆お祭りBOOK「奈良町」』Vol.1（神社のお祭り）、Vol.2（地蔵盆）を作成しました。当事業の最終年度にあたる今年度は、皆様にご協力いただくアンケートの結果を踏まえ冊子を作成する予定です。

つきましては、**奈良町（ならまち・きたまち・京終エリア）に興味を持ってくださっている皆様にもアンケートにご協力くださるようお願いいたします。**なお、アンケートの内容については、個人が特定できない形で冊子に掲載することがありますので、あらかじめご了承ください。

※ご記入いただいた個人情報は厳重に取り扱い適正に管理いたします。また、お預かりしました個人情報は、今回の目的以外に使用することはありません。

年代	10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代以上	性別	男性 ・ 女性 ・ 回答しない
奈良町への 来訪回数	1回 ・ 2～3回 ・ 5回程度 ・ 10回程度 ・ 10回以上 ・ 住民 ・ 職場がある		

※奈良町は、旧市街地であるならまち・きたまち・京終エリアのことで、いずれかのエリアに来訪した回数を1回とカウントしてください。

各設問の該当する番号に○（丸印）つけてください。

問1）あなたは、何らかの形で伝統行事に参加、または、お手伝いしたことがありますか。参加、お手伝いしている場合は、その行事名とお手伝いの内容も教えてください。（複数ある場合は全てご回答ください。）

- ①はい
②いいえ → 問4・5のみお答えください

行事名	
内容	

問2）問1で「はい」と答えた方にお聞きます。あなたが奈良町の伝統行事に参加した、または、お手伝いした理由やきっかけは何ですか。

--

問3）問1で「はい」と答えた方にお聞きます。奈良町の伝統行事に参加する、または、お手伝いすることについてどう思いますか。（複数回答可）

- ①楽しい
②誇りである
③意義がある
④致し方ないことである
⑤本当は参加したくない
⑥その他（ ）

問4）問1で「いいえ」と答えた方にお聞きます。奈良町の伝統行事に参加、または、お手伝いしていない理由は何ですか。

- ①興味がない
②参加したいが体力に不安がある
③参加したいが時間がない
④参加したいがどうやって参加できるのかわからない
⑤参加できるものだと思っていない
⑥その他（ ）

問5）問1で「いいえ」と答えた方にお聞きます。今後、奈良町の伝統行事に参加する、お手伝いする機会があれば参加したい（手伝いたい）ですか。その理由も教えてください。

①はい
②いいえ (理由)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

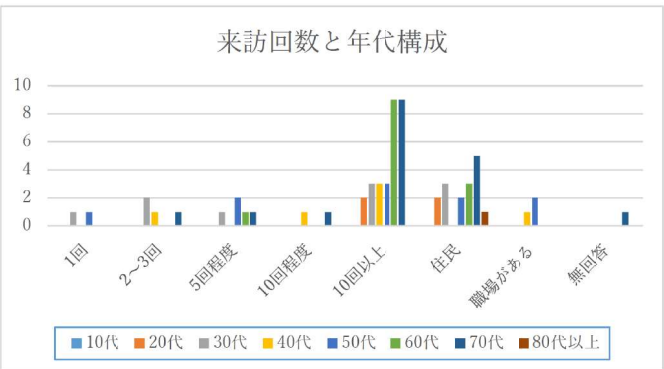
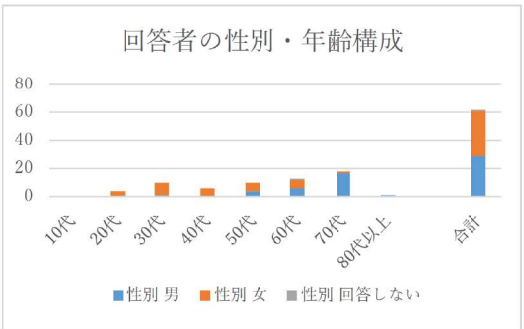
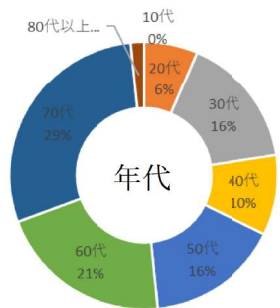
回答締切：令和2年12月14日（月）まで

回答先メールアドレス：naramachi-omotenashi@city.nara.lg.jp

■アンケート結果

基本情報（問1～3）（回答数 62）※空欄は 0 人

問1) 年代	問2) 性別			問3) 奈良町への来訪回数							
	男	女	回答 しない	1回	2～3 回	5回 程度	10回 程度	10回 以上	住 民	職 場 がある	無回答
10代											
20代	4	4						2	2		
30代	10	9		1	2	1		3	3		
40代	6	6			1		1	3		1	
50代	10	4	6	1		2		3	2	2	
60代	13	6	6	1		1		9	3		
70代	18	17	1		1	1	1	9	5		1
80代 以上	1	1							1		
合計	62	29	32	1	2	4	5	2	29	16	3



問4) あなたは、何らかの形で奈良町の伝統行事に参加、または、お手伝いをしたことがありますか。
(回答者数 62)

はい 24

いいえ 38

問5) 問4で「はい」と答えた方にお聞きします。
あなたが参加した、または、お手伝いした奈良町の
伝統行事の名前とお手伝い（参加）の内容を教え
てください。(回答者数 24)

行事とその内容 (36 意見/24 回答者中)

率川神社	1
三枝祭りに奉納したご縁で本祭の参列	
鏡神社	1
祭礼の受付	
元興寺	2
節分の神・袴の着付け、もちまき	
御霊神社	4
例大祭、宵宮の屋台・オハケなど	
佐保川桜祭り	1
地藏盆	7
各町内や寺を巡るガイド	
聖武祭	1
各町内や寺を巡るガイド	
転害会	4
沿道警備	
東大寺	1
大仏さまの秋のお祭り	
竹送り	4
交通整理、ガイド	
追儺会	1
椿明神	1
例祭	
八鐵神社	1
御祭礼	
文殊会	1

八坂神社	1
宵宮の出店	
その他	5
珠光茶会、奈良の八重桜巡り、転害市、 元興寺屋根裏ツアー、観光案内所当番	

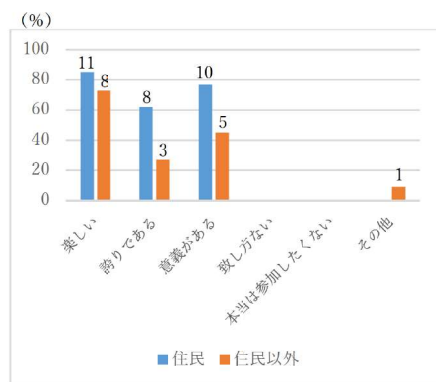
回答者の中で、地域の伝統行事に参加、また
はお手伝いをしたことがあると答えた人数は、
24 人で全体の 38.7%にあたる。そのうち、住
民と答えた人は 13 人、それ以外の人は 11 人
で、11 人の内訳は、来訪回数が 10 回以上の人
が 7 人、職場があると答えた人が 3 人、無回答
1 人だった。なお、表中の網掛けは、住民では
ないと回答した人の参加（お手伝い）した行事
である。

問6) 問4で「はい」と答えた方にお聞きしま
す。あなたが奈良町の伝統行事に参加した、ま
たは、お手伝いした理由やきっかけは何です
か。(回答者数 17)

住民 (7)	
手伝いをした理由	
伝統行事に興味があったから	3
きっかけ	
お祭り関係者からの声掛け	2
住民だから・町の役員になったから	5

住民以外 (10)	
手伝いをした理由	
人とのつながりが楽しい	1
地域の皆さんと交流したい	1
きっかけ	
神社から頼まれた	1
友人・知人の誘い	2
職場のご縁	1
ボランティア団体のメンバーとして	4
元住民	1

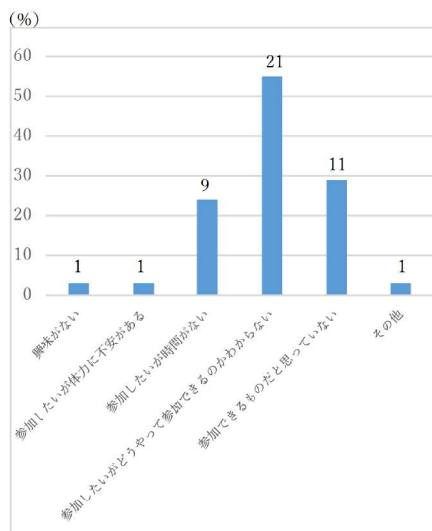
問7) 問4で「はい」と答えた方にお聞きします。あなたが奈良町の伝統行事に参加する、または、お手伝いすることについてどう思いますか。(複数回答、回答者数24:うち住民13、住民以外11)



伝統行事に参加(お手伝い)したことがあると答えた人に、その理由やきっかけを聞いたところ17件の回答があり、そのうち住民からの回答は7件、住民以外からの回答は10件あった。参加のきっかけについて、住民の場合は、住民になったら役割が回ってくるから、役員になったからといった理由が5件と半数を超えており、2件は行事関係者からの声掛けで参加するようになったと答えている。住民以外の参加のきっかけは、行事関係者、友人知人から誘われたと答えた人が3件、職場や所属する団体の関係と答えた人が5件あった。以上のことから、住民であっても、住民でなくても、役割がない場合に伝統行事に参加するきっかけは、関係者から誘われたからというものだった。

地域の伝統行事に参加したことがあると答えた人に、参加することについてどう思ったかを聞いたところ、ほとんどが「楽しい」「誇りである」「意義がある」と回答したが、住民と住民でない人では、その内訳に違いが見られた。

問8) 問4で「いいえ」と答えた方にお聞きします。あなたが奈良町の伝統行事に参加、または、お手伝いしていない理由は何ですか。(複数回答、回答者数38)

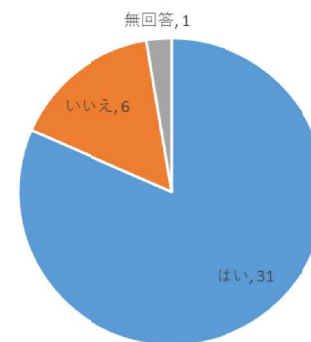


伝統行事に参加(お手伝い)していない理由として、最も多かったのは、「参加したいがどうやって参加できるかわからない」という回答で、回答者数の55%にあたる21人がこの選択肢を選んでいる。次いで、参加できるものだと思っていないという回答が多く、回答者数の29%にあたる11人が選んでいる。このことから、参加できる機会さえあれば参加したいという人が一定数いることがわかる。また、「参加したいが時間がない」と回答した9人の年代内訳は、20代が2人、50代が3人、60代が1人、70代が3人となっていた。

問9) 問4で「いいえ」と答えた方にお聞きします。今後、奈良町の伝統行事に参加する、お

手伝いする機会があれば参加したい(手伝いたい)ですか。

(回答者数37、無回答1)



問10) 問9の理由を教えてください。

(回答者数27)

「はい」と答えた理由

奈良や奈良町が好き (4)

- ・「ならまち」の空気感が自分に合うと思った。
- ・奈良町へ遊びに行く度、町の空気やそこで働く人に魅了されているから。
- ・奈良まちが好きなので。
- ・とりあえず奈良に行きたい

伝統行事や歴史文化に興味がある (8)

- ・奈良に近い大阪に住んで、奈良へ遊びに行く機会が増えるにつれて、魅力的な場所や興味深い歴史がたくさんある事に気がついたから。
- ・奈良町の伝統行事に興味がある
- ・地元ではないので、機会があるなら、参加しないともったいない。伝統的なものを体験する機会は貴重。

- ・伝統行事に興味があるので参加(お手伝い)してみたい
- ・歴史に興味があり、色々なことを体験したいから。
- ・伝統的なことに興味があるから
- ・奈良町の伝統行事に参加することにより、奈良町のことについての知識が深まるので機会があれば参加したい
- ・奈良の文化を体感したい。

まちづくり、地域活性化の役に立ちたい (7)

- ・奈良を活性化させる、また仲間作り、何かお役に立てる事なら参加したい。
- ・住んでいる場所の活性化に少しでも協力できたら嬉しいから。
- ・奈良町の保存と発展に協力したい
- ・奈良のお役に立ちたいので
- ・奈良町の近くに住んでいるので、活性化に協力できればいいと思っています。
- ・ボランティアガイドとして「奈良町」を歩き回っている、機会があればお手伝いしたい
- ・時間にゆとりができればまちづくりに寄与したいと思っている

まちのコミュニティに入りたい (3)

- ・今年奈良に引っ越してきて、街のコミュニティに入りたいので。
- ・遊びに行くだけの場所から、もう少しその町に踏み込みたい…という思いから、伝統的な行事にも参加してみたいと思った。
- ・せっかく奈良に住んでいるので、もっと奈良のことを知りたいし、奈良の人たちと繋がりたいから。

その他 (4)

- ・具体的な内容がわかれば参加したい。

- ・簡単に参加できる内容で、都合が合えば参加してみたい。
- ・どんな行事に参加できるのかわからない(けど)
- ・今奈良市に住んでいるから

「いいえ」と答えた理由

- ・あまり興味がありません
- ・実家が奈良だが私は大阪府民のため。また、子どもも小さく動きにくいので。
- ・いつどこで行事が行われるかわからないうえに、急に参加して地元の人に歓迎されるかどうか不明

新奈良町にぎわい構想 Ver.1

地域の伝統行事&お祭りBOOK「奈良町」Vol.3

まちづくり団体向けアンケート結果

アンケート概要

調査手法：無記名による選択式及び自由記述式のアンケートをインターネット、メールで配信

調査対象：奈良町に来訪経験のある人

調査期間：アンケート配布期間 令和2年11月11日（水）から

アンケート回収期間 令和2年12月14日（月）まで

配布方法：インターネット・SNSで配信

回収方法：オンライン回答（一部手渡し）

有効回答数：18件（無効数1件）

くらし・手続き	市民活動・文化・スポーツ	子育て・教育	福祉・医療・保健・健康	産業・しごと・事業者向け	奈良市の魅力	市政情報
---------	--------------	--------	-------------	--------------	--------	------

所在地 [トップページ](#) > 地域の伝統行事&お祭りBOOK「奈良町」アンケート(まちづくり団体会員向け)

地域の伝統行事&お祭りBOOK「奈良町」アンケート(まちづくり団体会員向け)

奈良市では、平成30年度、令和元年度に地域の伝統行事を紹介する事業として『地域の伝統行事&お祭りBOOK「奈良町」』Vol.1（神社のお祭り）、Vol.2（地蔵盆）を作成しました。当事業の最終年度にあたる今年度は、皆様にご協力いただくアンケートの結果を踏まえ冊子を作成する予定です。つきましては、まちづくり団体でご活躍されている会員様にも当アンケートにご協力くださるようお願いいたします。なお、アンケートの内容については、個が特定できない形で冊子に掲載することがありますので、あらかじめご了承ください。

※アンケートフォームは、ブラウザのクッキー(Cookie)を利用しています。（Cookie対応のブラウザでないと動作しません）お問い合わせフォームを開いてから6分を超えた場合、内容の送信ができなくなりますので、もし送信までに時間がかかる際には、事前にメモ帳やワードなどで文章を作成してから問合せフォームに貼り付けてください。

Q1：所属団体（必須）

Q2：年代（必須）

- ☐ 10代
☐ 20代
☐ 30代
☐ 40代
☐ 50代
☐ 60代
☐ 70代
☐ 80代以上

Q3：性別（必須）

- ☐ 男性 ☐ 女性 ☐ 回答しない

Q4：あなたが所属する団体では、何らかの形で奈良町の伝統行事のお手伝いを行っていますか。（必須）

- ☐ はい ☐ いいえ

Q5：Q4で「はい」と答えた方にお聞きします。所属団体でお手伝いしている奈良町の伝統行事の名前とお手伝いの内容を教えてください。

Q6：Q4で「はい」と答えた方にお聞きします。所属する団体において、あなたは奈良町の伝統行事のお手伝いに参加していますか。または、参加したことがありますか。

- ☐ はい ☐ いいえ

Q7：Q6で「はい」と答えた方にお聞きします。あなたは奈良町の伝統行事のお手伝いをする、または、参加することについてどう思いますか。

(複数回答可)

- ☐ 楽しい ☐ 誇りである ☐ 意義がある
☐ 致し方ないことである ☐ 本当は参加したくない ☐ その他

Q8：その他と答えた方は、内容をこちらに記入ください。

Q9：Q4、5で「いいえ」とお答えした方にお聞きします。奈良町の伝統行事に参加、または、お手伝いに参加していない理由は何ですか。

(複数回答可)

- ☐ 興味がない ☐ 手伝いたいが体力に不安がある ☐ 手伝いたいが時間がない
☐ 手伝いたいがその機会がない ☐ 手伝いたいがどうしたらいいかわからない ☐ その他

Q10：その他と答えた方は、内容をこちらに記入ください。

Q11：Q4、5で「いいえ」とお答えした方にお聞きします。奈良町の伝統行事に参加する、または、お手伝いをする機会があれば参加したい(手伝いたい)ですか。

- ☐ はい ☐ いいえ

Q12：Q11の理由を教えてください

確認する

奈良市役所

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1-1
市役所コールセンター (電話)：0742-36-4894 Fax：0742-36-3552
コールセンターのご利用時間：年中無休（平日／8時30分から18時まで 平日以外／9時から17時まで）
開庁時間：月曜日から金曜日 8時30分から17時15分まで

- ＞ 個人情報の取り扱いについ
- ＞ リンク・免責事項
- ＞ 市庁舎へのアクセス
- ＞ 市庁舎フロア案内
- ＞ お問い合わせ

地域の伝統行事＆お祭りBOOK「奈良町」Vol.3

まちづくり団体会員向けアンケート（会員個人回答）



インターネットでも
回答できます！

奈良市では、平成30年度、令和元年度に地域の伝統行事を紹介する事業として『地域の伝統行事＆お祭りBOOK「奈良町」』Vol.1（神社のお祭り）、Vol.2（地蔵盆）を作成しました。当事業の最終年度にあたる今年度は、皆様にご協力いただくアンケートの結果を踏まえ冊子を作成する予定です。

つきましては、まちづくり団体でご活躍されている会員様にも当アンケートにご協力くださるようお願いいたします。なお、アンケートの内容については、個人が特定できない形で冊子に掲載することがありますので、あらかじめご了承ください。

所属団体			
年代	10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代以上	性別	男性 ・ 女性 ・ 回答しない

各設問の該当する番号に○（丸印）つけてください。

問1）あなたが所属する団体では、何らかの形で奈良町の伝統行事のお手伝いをしていますか。お手伝いしている場合は、その行事名とお手伝いの内容も教えてください。（複数ある場合は全て回答ください。）

- ①はい
②いいえ → 問4・5のみお答えください

行事名	
内容	

問2）問1で「はい」と答えた方にお聞きます。所属する団体で、あなた自身は奈良町の伝統行事のお手伝いに参加していますか。または、参加したことがありますか。

- ①はい
②いいえ → 問4へ

問3）問1で「はい」と答えた方にお聞きます。奈良町の伝統行事に参加する、または、お手伝いをするについてどう思いますか。（複数回答可）

- ①楽しい
②誇りである
③意義がある
④致し方ないことである
⑤本当は参加したくない
⑥その他（ ）

問4）問1、問2で「いいえ」と答えた方にお聞きます。奈良町の伝統行事に参加、または、お手伝いに参加していない理由は何ですか。

- ①興味がない
②手伝いたいが体力に不安がある
③手伝いたい時間が少ない
④手伝いたいけどどうしたらいいかわからない
⑤その他（ ）

問5）問1、問2で「いいえ」と答えた方にお聞きます。奈良町の伝統行事に参加、または、お手伝いする機会があれば参加したい（手伝いたい）ですか。その理由も教えてください。

①はい
②いいえ
(理由)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

回答締切：令和2年12月14日（月）まで

回答先メールアドレス：naramachi-omotenashi@city.nara.lg.jp

■アンケート結果

基本情報（問1～3）（回答数18）※空欄は0人

問2) 年代	問3) 性別			問1) 所属団体						
	男	女	回答 しない	奈良ま ちづく りセン ター	奈良町 座	なべか つ※1	てんか つ※2	きたま ちコン セント	京終文 殊の会	NPO 京終
10代										
20代										
30代	2	2								1
40代	2	1	1					2		
50代	3	1	2		1	1		2		
60代	4	3	1	2※	1	1	1		1※	
70代	4	3	1	1			1		1	
80代 以上	3	3					3			
合計	18	13	5	0	3※	2	2	5	4	2※

※奈良まちづくりセンターと京終文殊の会の両方に参加していると回答した人は、両方でカウント

※1 なべかつ 旧鍋屋交番と奈良きたまの会

※2 てんかつ 転害門前旧銀行建物活用協議会

問4) あなたが所属する団体では何らかのかたちで奈良町の伝統行事のお手伝いをおこなっていますか。（回答者数18）

はい 12

いいえ 6

問5) 問4で「はい」と答えた方にお聞きします。所属する団体でお手伝いしている奈良町の伝統行事の名前とお手伝いの内容を教えてください。（回答者数10）

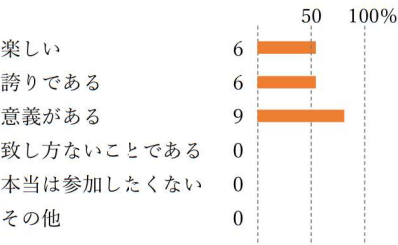
資金援助（寄附）、行事の企画・運営補助、宵宮への出店、会場貸し、行事関連講座の開催

問6) 問4で「はい」と答えた方にお聞きします。所属する団体において、あなた自身は奈良町の伝統行事に参加していますか。または、参加したことがありますか。（回答数12）

はい 11

いいえ 1

問7) 問6で「はい」と答えた方にお聞きします。あなたは奈良町の伝統行事をお手伝いする、または、参加することについてどう思いますか。（回答者数11）



問8) 問4、6で「いいえ」と答えた方にお聞きします。奈良町の伝統行事に参加、または、お手伝いしていない理由は何ですか。（回答者数7）



問9) 問4、6で「いいえ」と答えた方にお聞きします。奈良町の伝統行事に参加、または、お手伝いしていない理由は何ですか。（回答者数6）

はい 2

いいえ 3

無回答 2

「はい」と答えた理由

- ・地域の文化、伝統を私達の世代含めて次の世代に繋げていきたい。そのために、個人ではなく会としてきっかけなどがあれば嬉しい。
- ・ならまちが大好きで、伝統行事が残っていることを誇りに思う。

「いいえ」と答えた理由

- ・高齢のため

回答しなかった人のコメント

- ・住民ではないので、直接の参加は無理。広報の手伝いや民俗行事の調査研究くらいは可能。